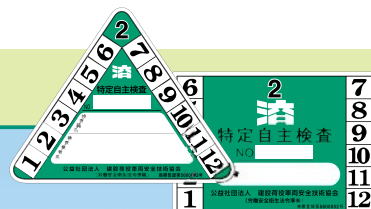


建設荷役車両



VOL.42 No.246

第**246**号
2020-3

令和2年3月1日発行(隔月1回1日発行)



公益
社団法人

建設荷役車両安全技術協会
SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES

URL <http://www.sacl.or.jp>



とくじけんくん

ORタイヤ販売開始!!

いつものタイヤで交換しようかな？

ちょっと待って！

その前に一度お問い合わせ下さい！

圧倒的コストパフォーマンスで
貴社の経費節約に
貢献いたします!!

スキッドステアローダ用

570×12	6PR
23×8.50-12	6PR
27×8.50-15	6PR
10×16.5	6PR
12×16.5	8PR

スキッドステアローダ用

ホイールローダー用

12.5/70-16	6PR	20.5-25	20PR
15.5/60-18	8PR	23.5-25	20PR
16.9-24	10PR	26.5-25	28PR
17.5-25	16PR	29.5-25	28PR

ホイールローダー用

他、サイズ多数取り揃え

※大型建機用ホイール多数サイズ取り揃えております。
※注入ウレタンによるノーパンク化も対応。

MRC 丸中ゴム工業株式会社

本社：名古屋市瑞穂区二野町 4-11

TEL:052-889-5556 FAX:052-889-5558

名古屋営業所：名古屋市瑞穂区二野町 4-11

TEL:052-889-1777 FAX:052-883-2511

東京支店：座間市小松原 2-17-16

TEL:046-256-8206 FAX:046-256-8208

仙台営業所：仙台市宮城野区中野 5-3-8

TEL:022-387-0020 FAX:022-786-0440

大阪営業所：摂津市鳥飼中 3-6-60

TEL:072-650-5650 FAX:072-650-3650

第246号 2020 / 3月号



◆ 令和元年度 全国支部長会議

◆ グラフで見る特自検 第1回

◆ 「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」の稼働について

◆ 令和2年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表

◆ 令和2年度 各種研修の受講料

◆ 令和2年度版 建荷協発行図書等のご案内



建設荷役車両

2020-03 VOL.42 No.246

INDEX

■ 巻頭言

人手不足	絹川 秀樹	4
------------	-------	---

■ 広報

令和元年度 全国支部長会議		5
グラフで見る特自検 第1回		10
「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る 入力支援サービス」の稼働について（協力依頼）		15

■ イラスト災害事例		19
------------------	--	----

■ 技術解説

環境施工に配慮した油圧式可変超高周波型 バイブロハンマZERO SR-60の紹介	中城 延浩	23
---	-------	----

■ 随想

伊豆研修センター	兼八 淳	28
----------------	------	----

■ 安全・技術講座

我が社のセールスポイント		30
富山県支部 コマツカスタマーサポート株式会社 中部カンパニー 高岡支店		

■ コーヒーブレイク

第120話（最終話） 人生初！二重橋を渡る	寺岡 晟	35
-----------------------------	------	----

■ Topics

平成30年度 考案賞受賞企業を訪ねて

第3回 銀賞受賞 「トラックローラー交換用治具」	44
三重県支部 株式会社アクティオ 三重いなベテクノパーク統括工場	
フォークリフトの安全性向上に向けた製品開発の取り組み	47

■ お知らせ

建荷協の動き	49
令和2年度特定自主検査資格取得研修・教育の予定表	51
令和2年度各種研修の受講料	59
特定自主検査者資格取得者名簿（令和元年12月1日～令和2年1月31日）...	60
建荷協発行図書等のご案内	63
支部一覧	67
編集後記	68



「人手不足」

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会

理事 絹川 秀樹

コベルコ建機株式会社 常務執行役員 ショベル営業本部長

2030年には我が国の人口は1億2000万人を切ると予想されている。私が生まれた1960年代は人口が1億人を切っていたが、その頃と比べると産業のすそ野は格段に広がっている。この60年間で、我が国のGDPは約20倍になり、この経済状況下での人口減は深刻な問題である。また、人口の減少だけでなく、2026年には高齢化率（65歳以上の人口比率）が世界で初めて30%を超えるであろう。つまり、3人に1人が65歳以上になる。世界のどの国も経験したことがない状況に我が国は直面することになる。

建設業界においても、道路、橋梁などの老朽化インフラの更新工事を中心に、旺盛な需要が見込まれる一方で、労働力の供給制限に直面している。2018年に人手不足関連で倒産した企業は約400件で、前年比28.6%の増加である。失業率は2.5%を切り、2%に近づいている。1990年のバブル期が2%の失業率であったので、バブル期並みの失業率、つまり、完全雇用の状況が今後も続いていく。

このような状況下、昨今、政府の主導により、労働資源を最大限に活用するべく、女性や高齢者の労働参加による労働力の確保が図られているが、総労働力（一人当たりの労働時間×労働人口）は本当に増えているのだろうか。一方で、働き方改革で残業時間が少なくなり、労働時間の短い女性や高齢者の増加だけでは総労働力の減少をカバーできていない。労働人口は2017年か

ら3%増えたが、総労働力は2%減ったとの統計もある。今後も総労働力は減少する前提で、一人当たりの生産性を高めるしか手はないのであろう。

余談であるが、先日、スーパーでの買い物で、年齢が80歳を超えているように見えるレジの女性が隣の若い女性と変わらないスピードで買い物かごの中の商品进行处理していた。仕事によっては高齢の方でも高い生産性を維持できている。また、ユニクロに行くと、レジに買い物かごを置いただけで自動的に金額が表示され、クレジットカードや電子マネーで即座に精算できる。投入される労働力はゼロである。生産性を高める工夫や設備投資・改善はさらに推進されていくであろう。

ところで人手不足は悪いのだろうか。人手不足になると、企業は業務効率化の工夫をする。あるいは、省力化投資を始める。この工夫や省力化投資により労働生産性が上がり、人手不足は生産性の低い企業から生産性の高い企業へ発展していく起爆剤となる。また、人手不足であれば、失業対策の公共投資なども不要になる。公共投資は生産性の低いものも多いので、それが不要になることでその財源を本当に投資が必要な成長分野へ回すことができ、日本経済が効率化し、そして活性化するのではと思う。

人手不足を前向きに捉え、我が国が変わり、そして成長していくチャンスとしたい。

広報

令和元年度 全国支部長会議

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会



■日時：令和元年 1 月23日（木） 14：00～17：00

■場所：ホテルグランドパレス 4 階ゴールデンルーム

〔会議次第〕

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 開 会 | (2) 令和 2 年度事業計画(素案)について |
| 2. 会長挨拶 | (3) 令和2年度の行事予定(案)について |
| 3. 来賓挨拶 | (4) その他 |
| 4. 議 題 | 5. 講 演 |
| (1) 協会現況について | 6. 閉 会 |

■はじめに

令和元年度全国支部長会議は、1 月23日（木）、ホテルグランドパレス4階ゴールデンルームで開催された。

会議は全国の支部長、随員の事務局長他支部関係者、本部関係者を含め100名以上の出席者のもと、定刻の午後 2 時に開会された。

大山総務部長の進行により、新任支部長の紹介、酒井会長の挨拶に続き、ご来賓の挨拶が行われた。

昨年 1 月の全国支部長会議以降、新たに支部長に就任されたのは以下の 6 名の方々です。

〔青 森〕	笹原 博文	トヨタ L & F 青森(株)
〔山 形〕	石川 清	昭和建機(株)
〔愛 知〕	佐藤 達男	トヨタ L & F 中部(株)
〔兵 庫〕	富田 幹唱	山喜産業(株)
〔鳥 取〕	天野 真明	(株)山陰リース
〔香 川〕	泉田 俊郎	(株)クボタ建機ジャパン四国営業部

会長挨拶



酒井会長

皆様方には、ご多忙の中、全国支部長会議にご参集をいただきありがとうございます。

また、日頃より支部業務の円滑な運営にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

そして、ご来賓の皆様にもお忙しい中、お越しいただいております。厚く御礼申し上げます。

昨年は台風や大雨などが日本各地を襲い、多くの被害をもたらしました。当協会の会員の中においても、被災されておられる方がいらっしゃいます。まずもって被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

一方、アジアで初めて開催となったラグビー・ワールドカップ日本大会では、大会期間中に台風が襲ったものの、日本代表がこれも初めてベスト8に進むという活躍に大きな盛り上がりを見せたのは記憶に新しいところです。

そして、いよいよ、今年、令和2年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、様々な方面で一層好ましい影響を及ぼしてくれるのではと期待しております。

さて、建設荷役車両に起因する労働災害は、関係者の皆様のご尽力により長期的には減少の傾向にあるものの依然として発生しているところです。

建設荷役車両の不具合は重篤な災害に繋がりがねないことを踏まえれば、労働安全衛生法に基づく特定自主検査の普及・推進により建設荷役車両の「災害ゼロ」を目指す当協会の役割は、ますます重要なものとなると認識しているところあり、この認識のもと、特定自主検査に係る適正な検査・整備技術に関する研修・教育や広報活動等の諸事業を一層積極的に展開して、労働者の安全確保対策の充実を図ってまいります。

加えて、本・支部一体となった適正な法人運営、コンプライアンスの徹底等公益法人に課せられた課題に真摯に対応してまいりたいと考えており、これらの基本的な考えにしっかりと立って協会を運営することが、当協会への信頼につながり、ひいては発展へとつながるものであると思っているところでございます。

本日は令和2年度の事業計画の素案等についてご説明いたしますが、皆様方の忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

最後に、皆様方の引き続きのご協力をお願い申しあげまして、開催にあたりましての、挨拶といたします。

来賓挨拶

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 外国安全衛生機関検査官・片野様並びに経済産業省 製造産業局 産業機械課生産機械一係長・浅井様から、行政情報のご紹介を含めご挨拶を賜りました。



片野検査官様



浅井係長様

議 事

議事の進行は、大山総務部長によって進められた。



大山総務部長

I. 協会現況について

小澤常務理事（事務局長）から、資料に基づき、令和元年度の会員異動状況、標章等頒布状況、研修・教育実施状況並びに資格取得修了証発行状況について説明が行われた。



小澤常務理事

II. 令和2年度事業計画書(素案)について

小澤常務理事（事務局長）から、資料に基づき、事業計画全体に対する基本方針を説明し、事業実施項目については新規事業に当たるものを中心として趣旨説明が行われた。

その主なものは次のとおりである。

1 事業活動の積極的推進

(1) 建設荷役車両の定期(特定)自主検査の普及及び定着

特定自主検査強調月間の展開等を積極的に推進するとともに、特定自主検査巡回指導員制度の周知徹底とそのレベル向上に努め、その活用を促進する。

(2) 登録教習機関の適正な運営

登録教習機関として、登録支部に対し計画的に内部監査・指導を実施する。

(3) 検査者(員)養成研修、安全衛生教育の充実

特定自主検査者(員)の資格取得研修、能力向上教育等を計画的に実施する。

また、新たな研修講師を養成すると共に、研修講師の交流・研修会を通じて研修・教育レベルの向上を図る。

(4) 検査・整備技術の向上

定期(特定)自主検査者の検査・整備技術の向上に必要な技術資料、情報等を収集し提供するとともに、建設荷役車両の安全に関する知識の普及促進を図る。

また、検査・整備関連考案技術の募集、評価及び公表を行う。

(5) リスクアセスメント等の導入

検査・整備の現場における労働災害防止のために、リスクアセスメント等の導

入を推進する。

(6) 特自検実施状況等の調査

特自検に係る実施の現況、各社の取り組みなどの状況についてアンケート調査等を実施し、調査結果について集計、分析を行う。

(7) 各企業の技能・技術向上活動の奨励

各企業が積極的に実施している社内競技会等での成績優秀者を表彰し、特自検の内容を含む技術・技能の向上活動を奨励する。

(8) 広報活動の推進

機関誌、ポスター・リーフレット等のPR資料、ホームページ等により、特定自主検査制度の普及・定着化を図るために適切な情報をタイムリーに公開・提供する。

(9) 行政施策への対応

車両系建設荷役車両に係る行政施策へ適切に対応する。

2 組織の円滑な運営

(1) 公益法人としての的確な運営

定款及び各種規程等に基づく法人の的確な運営を図る。

(2) コンプライアンスの確立

ハラスメントに係る相談体制及び内部通報制度の的確な運用を図り、もってコンプライアンスの徹底を図る。

(3) 組織体制の整備

会員の加入を促進し組織の充実を図るとともに、組織運営に係る基本的な課題等について取り組みを進める。

(4) 支部活動の推進

引き続き本部・支部間の連携を密にするとともに支部支援体制を強化し、支部活動の活性化を図る。

また、支部の行う研修・教育等の適切な運用を図る。

(5) 関係行政機関等との連携

関係行政機関等との連携を図るとともに、関係団体との連携を密にし安全衛生活動等を積極的に行う。

(6) 情報の公開

必要な情報をインターネット等により公開する。

3 会議等の開催

(1) 会議の開催

定時総会（1回）、理事会（2回）、運営幹事会（原則3回）、全国支部長会議（1回）、全国支部事務局長会議（1回）、ブロック別支部長会議（延べ6回）、新任支部事務局長等研修会議（適宜）、新任支部職員研修会議（適宜）、支部職員研修会議（1回）を開催する。

(2) 常設委員会等の開催

常設委員会は、年間を通じて開催する。また、必要に応じて、特設委員会の設置・開催及び常設委員会のもとに小委員会を設置・開催し、効率的な業務運営に資する。

4 対策の推進

上記1から3までに掲げる事業を具体化し、総合的に推進する。

Ⅲ. 令和2年度の行事予定等について

令和2年度の本部開催の行事予定の説明が行われた。

- 第25回運営幹事会 令和2年5月12日
- 第17回理事会 令和2年5月15日
- 第9回定時総会 令和2年6月12日
- 第26回運営幹事会 令和3年1月15日
- 第27回運営幹事会 令和3年3月9日
- 第18回理事会 令和3年3月12日

報告・説明ののち質疑応答、審議が行われた。

講 演

「ハラスメントの防止について」の演題で、公益財団法人21世紀職業財団 客員講師 伊東 文子様にご講演をいただいた。



講演中の伊東様

講演では、職場のハラスメントの基礎知識について、ハラスメントは何故、問題なのか、組織や周囲に与える影響やハラスメントの種類・判断基準などをクイズ形式も交え、ご説明頂いた。

動画による事例視聴ののち、ハラスメントを受けたとき、またハラスメントの相談を受けたときの対応のポイントをお話しいただき、「活き活き職場を皆でつくるために、毎日のコミュニケーションが重要」との言葉で講演を締めくくられた。

以上で、令和元年度全国支部長会議は終了した。

広報

グラフで見る特自検 第1回

特定自主検査に係る現況等の調査結果報告

建荷協本部 調査部

建荷協における新たな活動施策を企画立案し、特自検の実施率の向上につなげることを目的に、「特定自主検査に係る現況等の調査」を開始しました。

昨年行いました第1次のアンケート結果がまとまりましたので、本誌にて以降数回に分けてご紹介していきます。なお、調査の概要については3. 調査概要をご覧ください。

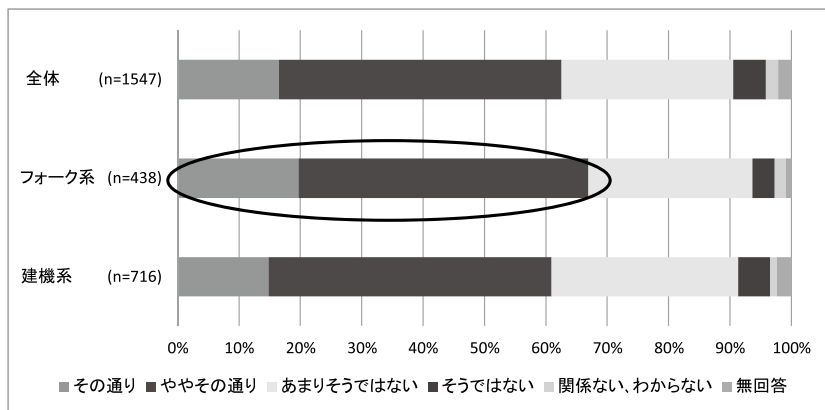
1. 特自検の規定料金や受注について

1-1 特自検の規定料金は採算がとれる水準であるか。

上記の問いに回答企業全体では62.5%の企業が「その通り」「ややその通り」と回答しており、逆に「あまりそうではない」

「そうではない」との回答は33.3%でした。

これをフォーク系、建設機械系それぞれでみるとフォーク系の「その通り」「ややその通り」の回答が66.9%と建機系の回答60.9%を上回っています。



グラフ 1 特自検の規定料金の採算についての考え

稼働現場などでの出張検査が主となる建機系に対し、ある程度の大きさの車両までは検査業者の工場への持ち込み検査が主であるフォークリフト系のほうが、より効率

の良い場内検査を実施できることで、採算性の水準も高められることもその一因ではないかと推測されます。

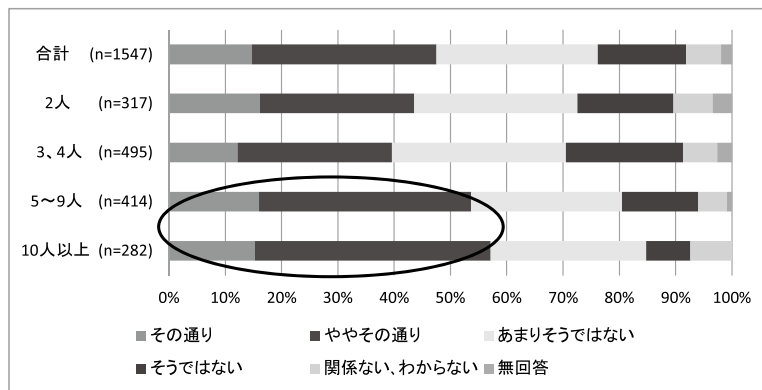
1-2 特自検の規定料金は顧客から高いと思われるか。

次に特自検を依頼する顧客から、規定料金が低いと思われるのか否かについては、全体の回答では「その通り」「ややその通り」が47.5%、「あまりそうではない」「そうではない」が44.3%と似たような回答結果になっています。

この回答についてもフォーク系、建設機

械系に分けると「その通り」「ややその通り」がそれぞれ49.1%、47.1%とあまり差はありません。

ただ、この回答を検査員の人員規模別で見ると下図のように規模が大きいほうが「その通り」「ややその通り」とされているとの回答が多く、10人以上の規模では57.1%となっています。



グラフ2 特自検の規定料金について顧客の考え

これは自動車整備などでも一般的に“大きな会社⇒工賃単価が高い＝検査料金が低い”というようなイメージを顧客が持っていたり、規模が大きい業者は取扱台数も多く小規模業者とでは顧客とのコミュニケーション量に差があるのかなどが推測されますが、詳細を知るにはさらなる調査が必要だと考えます。

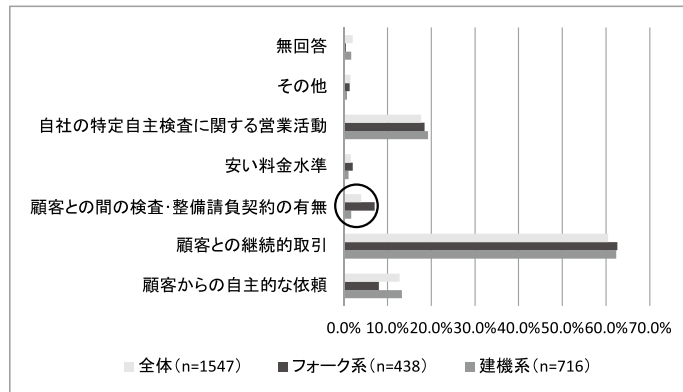
1-3 特自検を顧客から受注する際の最も重要な決め手

上記の問いに全体では「顧客との継続的取引」の割合が60.4%と最も高く、次いで「自社の特自検に関する営業活動」、「顧客か

らの自主的な依頼」、「顧客との間の検査・整備の請負契約の有無」の順となっています。

これらを機械の種類別で見ると上位2項目についてはフォーク系、建機系とも特に大きな差はありません。

ただ近年では機械・車両の使用形態が購入だけではなく、レンタルやリース契約などの長中期賃貸の形態もある中で、定期点検や特自検などの保守点検を含めたメンテナンスリースとよばれるような形態も増えているとみられ、機械の種類別ではフォーク系でこのような形態での導入、使用が増えていることも推測されます。



グラフ 3 特自検を受注する際の決め手について

2. 会員企業について

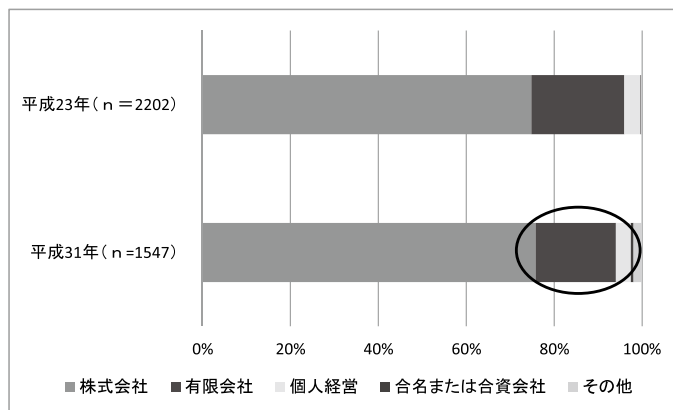
ここからは今回アンケートで回答頂いた企業（事業所）構成などについてみたいと思います。

2-1 企業形態について

企業形態については過去に行った「特定自主検査の実施基盤を下支えする企業の情報に係る動向調査 平成23年度」と比較して企業

形態別の構成の変化をみたいと思います。

ただし、平成23年度の調査では全会員企業様へアンケートを送付し2202社（所）から回答を頂きましたが、今回は検査業者登録をされている会員企業様へアンケートを送付させて頂き1547社（所）から回答を頂きました。同一対象の比較ではないことをご了解ください。



グラフ 4 企業形態の推移

企業形態についてはグラフ 4 にあるとおりあまり大きな変化はありませんが、有限会社の比率が2.8%減少し、株式会社の比率が0.9%増加しています。

これは有限会社から株式会社へ改組され

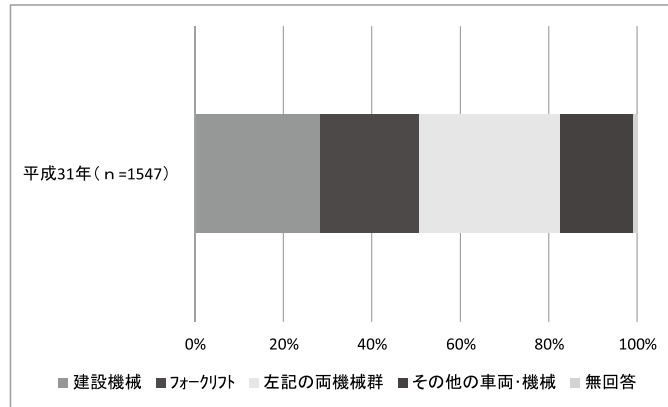
たなどの状況や、平成18年5月から施行された「新会社法」と呼ばれる法制度により新たな有限会社が設立されなくなったことも影響しているかも知れません。この有限会社の減少傾向はさらに進むことが予想されます。

2-2 検査を実施している車両区分

検査を実施している車両区分についてみると「フォークリフト」が26.0%、「建設機械」は32.6%、「フォーク・建機の両機械群」が36.6%と「フォーク・建機の両機械群」

の検査を実施している企業（事業所）が一番多くなっています。

また、「その他の機械群」を主として検査を実施している企業（事業所）も19.0%を占めています。



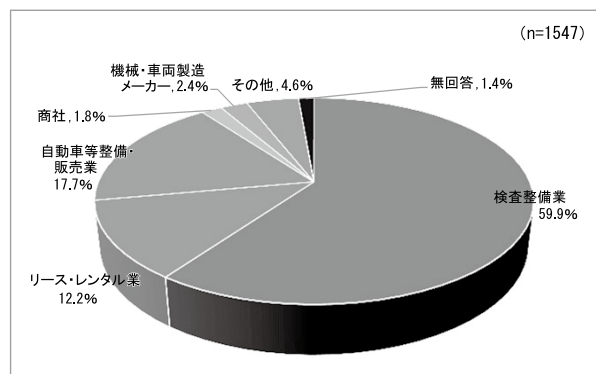
グラフ 5 取り扱い機種の構成

公表されている直近の実績である平成29年の検査業者による検査実施台数をみると「フォークリフト」が76万台強、整地等の「建設機械」が40万台弱に対し、「その他の機械群」となる締固め、コンクリートポンプ車、高所作業車の合計が8万台弱であることから「その他の機械群」についてはその内容をさらに調べる必要があると考えます。

2-3 回答企業の主たる業種

回答企業の主たる業種をみると検査・整備業が59.9%で最も多く、次いで自動車等の販売・整備業、リース・レンタル業の順になっています。

今回のアンケートは検査業者登録をしている会員企業（事業所）に送付させていただきましたので販売・整備を主業務としている企業（事業所）が一番多くなっていると考えられます。



グラフ 6 主たる業種

3. 調査概要

この調査の実施概要は以下のとおりです。

表 1 アンケート実施概要

調査対象	3,450社（検査業者登録をしている会員企業（事業所を含む））
調査方式	郵送による自記方式のアンケート
調査期間	2019年 3 月12日～2019年 4 月10日
発送数	3,450社
回答数	1,547社
回答率	44.8%

なお、回答企業の検査業者カテゴリー区分は以下のとおりとしました。

1) 建設機械系検査業者

2017年度における「他社から依頼を受けて実施する機械、車両区分」の検査実施台数の「車両系建設機械」の割合が70%以上の企業（716社）

2) フォークリフト系検査業者

1)と同様に2017年度における「他社から依頼を受けて実施する機械、車両区分」の検査実施台数の「フォークリフト」の割合が70%以上の企業（442社）

3) その他の検査業者

上記1)、2)以外の企業（266社）

【アンケートの主な質問項目】

- I 企業（事業所）の概要
 - ・企業の形態や業種、主な取り扱い機種などについて
- II 特自検の実施の状況
 - ・特自検の実施台数、及び翌年見込み
- III 特自検に係る市況
 - ・受注の状況やユーザーの価格感、補修作業などについて
- IV 建荷協の事業、活動等
 - ・資格取得研修、能力向上教育、実務研修などについて
 - ・巡回指導、特自検セミナーなどについて
 - ・機関誌、広報資料などについて
- V 調査企業を取り巻く市況

次号では特自検と補修を中心とした説明を掲載する予定です。

広報

「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」の稼働について（協力依頼）

厚生労働省労働基準局

令和元年11月29日 厚生労働省労働基準局安全衛生部長より、当協会会長宛に「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」の稼働開始にあたり、周知広報について協力依頼がありましたのでお知らせ致します。

基安発 1129 第 2 号

令和元年 11 月 29 日

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会会長 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部長
(公印省略)

「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」
の稼働について（協力依頼）

労働安全衛生行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、12 月 2 日より、労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス（以下「本サービス」という。）の稼働を開始する予定です。

本サービスは、利用者が労働安全衛生法関係の届出・申請等の帳票を作成・印刷する際に、①誤入力・未入力に対するエラーメッセージの表示、②添付書類の漏れに対する注意喚起、③過去の保存データを用いた入力の簡素化等を行うものであり、利用者（帳票作成者）の利便性の向上を図るとともに、帳票作成時に入力内容の形式審査を行うことにより労働基準監督署における帳票の受付、点検等の業務処理の効率化を図ることを目的として開発したウェブサービスです。

つきましては、下記3のとおり、貴団体会員向けの周知広報に御協力くださいますようお願いいたします。

記

1 本サービスの概要及びサービス利用の手順

本サービスの概要及びサービス利用の手順は次のとおりです(別添1参照)。
 なお、サービスの利用にあたって、事前申請や登録は不要です。

① 利用者は、本サービスに接続し、インターネット上で帳票の作成を行う。

本サービスでは、次の点について入力支援を行うとともに、入力内容の形式審査を行う。

- ・ 帳票の各入力項目について、どのような事項を記載すればよいのか説明文や参照条文を表示する。
- ・ 利用者が帳票の入力を終えた際に、入力内容の形式審査を行い誤入力や未入力の項目がある場合には、エラーメッセージを表示する。
- ・ 本サービスの過去の保存データを用いることにより、事業場の名称、住所などの共通項目についての入力を簡素化する。

② 利用者は、①で作成した帳票の印刷を行う。

この際、本サービスを利用して帳票を作成したことがわかるよう、帳票の下に「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」と印字される。

また、労働基準監督署に届出・申請等を提出する際に、添付書類が必要な場合には、届出・申請等に応じた添付書類のチェックリストが自動的に出力される。

③ 利用者は、②で印刷した帳票に、必要に応じて添付書類を添えて労働基準監督署に提出する。

2 本サービスの対象となる帳票

本サービスの対象となる帳票は、当面、次の4帳票であり、サービスの利用状況等を踏まえ、順次拡大に向けた検討を行う予定です。

- ・ 総括安全衛生管理者・安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告(労働安全衛生規則(以下「安衛則」という。)様式第3号)
- ・ 定期健康診断結果報告書(安衛則様式第6号)
- ・ 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書(安衛則様式第6号の2)
- ・ 労働者死傷病報告(休業4日以上)(安衛則様式第23号)

3 周知広報についての協力依頼

例えば、次に示す方法により、貴団体会員向けの周知広報に御協力くださいますようお願いいたします。

① 別添2のリーフレットを配布する等により、本サービスの周知及び利用勧奨を図ると。

② 貴団体ホームページ内に本サービスへのリンクを設定し、周知を行っていただくこと。

(参考)

「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」

<https://www.chohyo-shien.mhlw.go.jp/>

事業主の皆さまへ

労働基準監督署への報告書類（安全衛生関係）は、インターネット上で作成できるようになりました

厚生労働省は「労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス」を開始しました。

このサービスでは、以下4つの「労働安全衛生関係の届出・申請等」について、労働基準監督署へ提出する書面（※1）を作成する際に、**誤入力・書類の添付忘れを防ぎ**、過去の保存データ（※2）を用いて**共通部分の入力を簡素化**します。事前申請や登録は不要ですので、ぜひご利用ください。



Webブラウザ要件

- ・ Internet Explorer
- ・ Microsoft Edge
- ・ Google Chrome

OS要件

- ・ Windows10
- ・ Windows8.1

対応している届け出・申請

- 労働者死傷病報告（休業4日以上）
- 定期健康診断結果報告書
- 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書（ストレスチェック）
- 総括安全衛生管理者・安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告

※1：このサービスは、申請や届け出をオンライン化するものではありません。
作成した帳票は、**必ず印刷し、所轄の労働基準監督署へのご提出をお願いします。**

※2：このサービスで入力された情報は、インターネット上には保存されません。
次回以降に活用される場合は、ご自身のパソコンに保存ください。

□ 入力支援サービスへのアクセス方法はこちら □

- ・ 検索窓口から **安全衛生 入力支援** と入力
- ・ <https://www.chohyo-shien.mhlw.go.jp/> を直接入力



<お問い合わせ先>

操作に関すること：労働基準局労災保険業務課 **03-3920-3311（内線329）**

帳票の取扱いに関すること：労働基準局安全衛生部 **03-5253-1111（内線5482、5498）**



厚生労働省労働基準局

帳票の入力画面例（定期健康診断結果報告書の場合）

労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス

定期健康診断結果報告書

過去に作成・保存（※3）した帳票を読み込んで共通事項の入力を省略できます

労働保険番号(都道府県)を確認して入力してください。①

参照 帳票入力データの読み込み

①労働保険番号

都道府県(必須)

入力項目の説明▲

入力項目の説明を確認しながら入力できます

管轄(必須) 所管 労働保険番号の上から3桁目を入力してください。

基幹番号(必須) 管轄 労働保険番号の上から4、5桁目を入力してください。

基幹番号 労働保険番号の上から6桁～11桁目までを入力してください。

枝番号(必須)

入力エリア

帳票イメージ

②対象年

対象年(必須) 元号 年 月 月分 報告回数 () 月 () 月分 (報告 () 回目)

③健診年月日

健診年月日(必須) ※西暦で入力する

(※3) 入力データを保存すると次回報告時に再利用できます

④事業の種類／事業場の名称

事業場の種類(必須) 中分類

入力項目の説明▼

データの保存が完了したら、帳票を作成して印刷

戻る 帳票を作成する 帳票入力データを保存する

アンケートにご協力ください

- 入力項目の説明を確認しながら入力できます。
- 未入力・誤入力があると、エラーメッセージが表示されます。（※4）
（※4）誤りなどを修正してから印刷が可能になります。
- 提出時は帳票だけでなく、添付書類の確認もお願いします。（※5）
（※5）総括安全衛生管理者・安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告を印刷する時は、添付書類チェックリストでのご確認をお願いします。

2019.11

イラスト災害事例

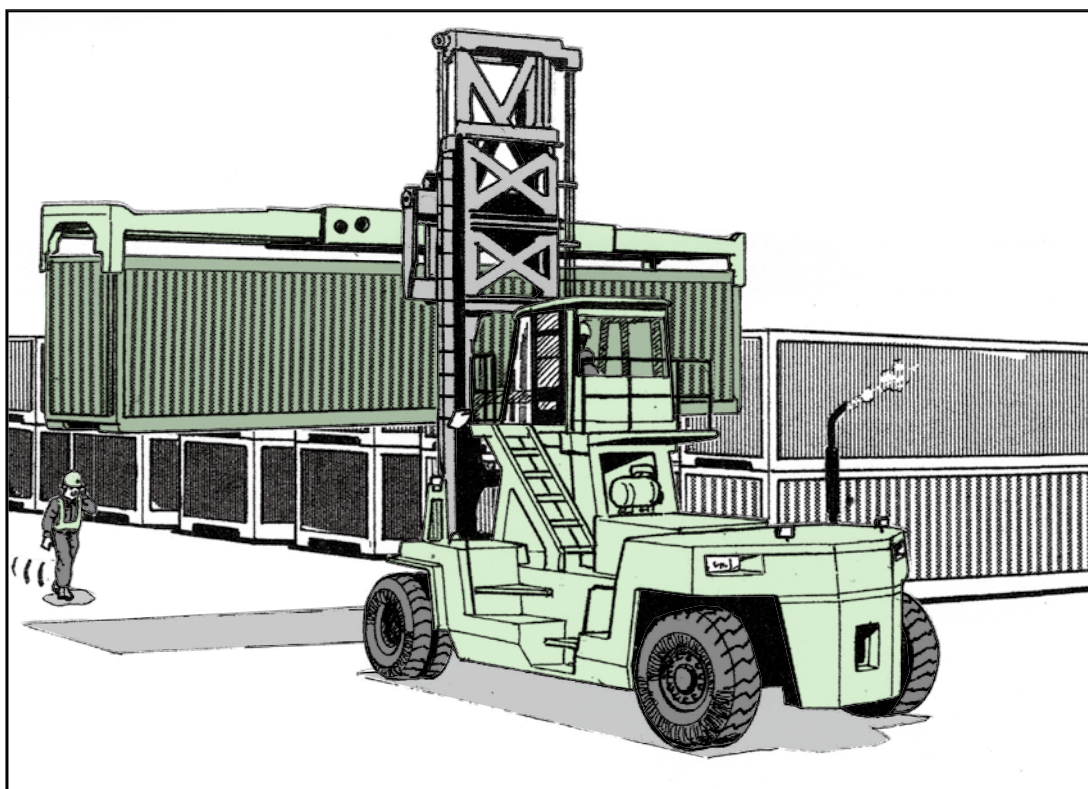
車両系荷役運搬機械および車両系建設機械・高所作業車（特自検対象機械）の労働災害事例について、災害発生前と発生後をイラストにして説明しています。職場の皆様でご覧になり、安全作業、危険予知活動等にご活用ください。

1. 車両系荷役運搬機械の災害事例

【分類】 起 因 物：フォークリフト 事故の型：飛来、落下

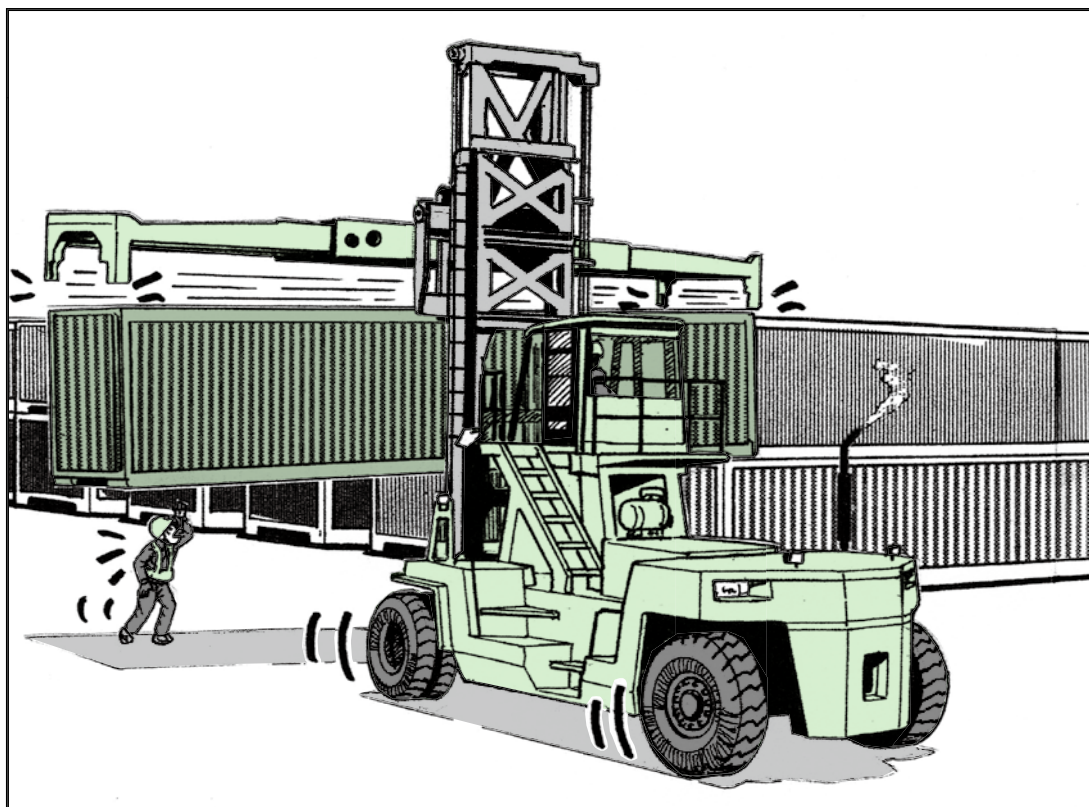
1-1 この状況で予知される災害は？（どんな危険が潜んでいるのでしょうか…）

空の40ftコンテナ（重量3.84t）をスプレッダー仕様のフォークリフトにて積載し、3m程度まで上げて後進していました。



1-2 こんな災害が発生しました（どうすれば防げるでしょうか…）

緊結保持していた左右のスプレッダーの嵌合部が、突然コンテナから続けて外れ、作業場へ向かおうと近道をした作業者に落下しました。



【災害発生防止のポイント】

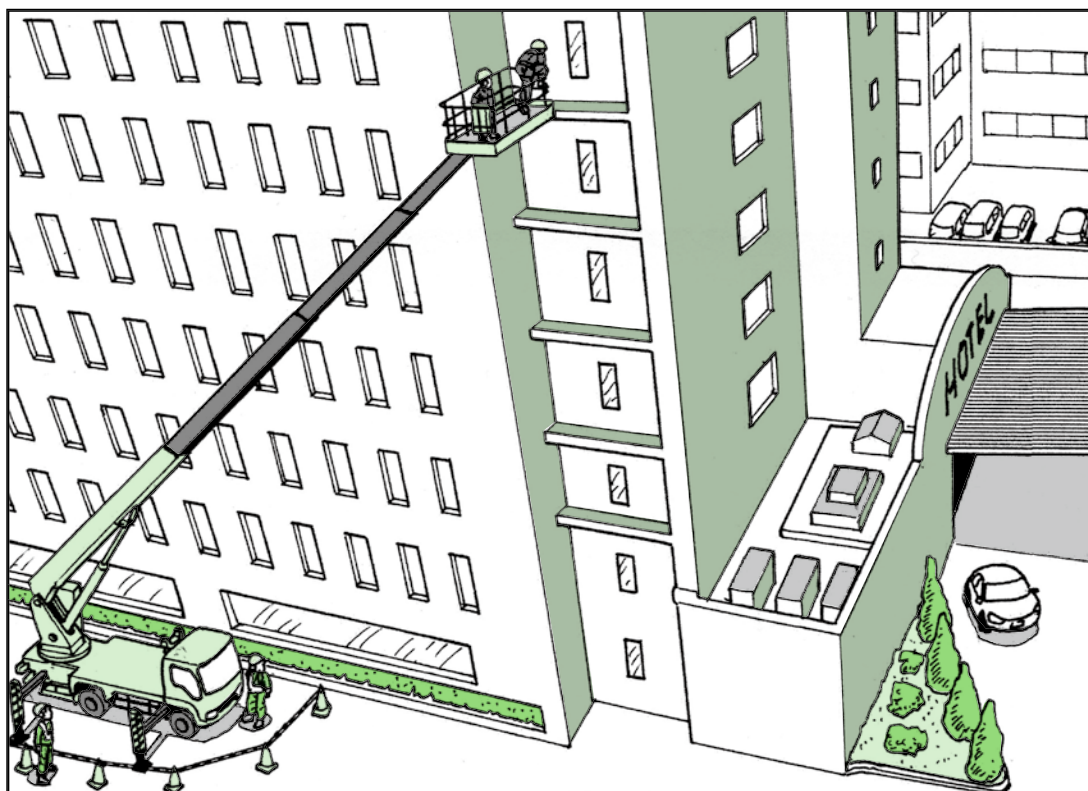
- 作業開始前点検を確実に実施する
- 揚重した時点で、積み荷が正常に保持されているか確認する
- 揚重した積み荷の下に入らない
- 近道行動をせず、安全通路を通行すること

2. 車両系建設機械等の災害事例

【分類】 起 因 物：高所作業車 事故の型：墜落、転落

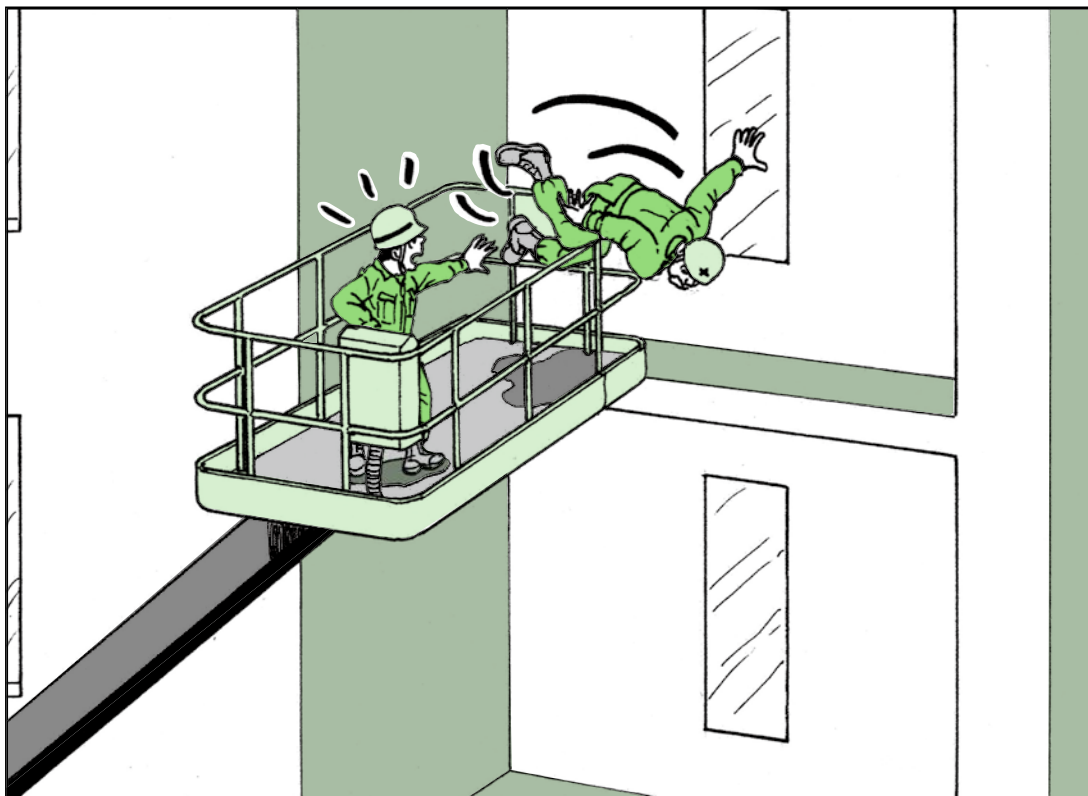
2-1 この状況で予知される災害は？（どんな危険が潜んでいるのでしょうか…）

作業者とオペレーターの2名で高所作業車を使用し、建物外壁を修繕していたところ、作業床の底部が建物と接触して動かなくなり、作業者が作業床の外に出て接触箇所を確認しようとしていました。



2-2 こんな災害が発生しました（どうすれば防げるでしょうか…）

作業者がバランスを崩し、約20mの高さから墜落しました。



【災害発生防止のポイント】

- 高所作業ではフルハーネス型墜落制止用器具等を使用する
- 高所作業では作業床から身を乗り出さないこと

技術解説

環境施工に配慮した油圧式可変超高周波型 バイブロハンマZERO SR-60の紹介

中城 延浩*

1. はじめに

近年、杭の長尺化・大型化に伴い、打込み・引抜き能力のあるバイブロハンマが求められるとともに、同時に機械の軽量化、環境対策型機械であることが必須となっている。

1997年（平成9年）、国内初の4軸慣性方式による油圧式可変超高周波バイブロハンマゼロ起動・ゼロ停止型バイブロハンマZERO SR-45を発売した。

SRは（Super Sonic Resonance Free Vibro-Hammer）の省略で、超高周波振動に適する外部取付け非接触ベーン型可変機構を有し、超低騒音型・低振動型建設機械の指定を取得した環境対策型バイブロハンマとして都市土木で使用可能な低公害対策型バイブロハンマとなった。

杭打ち施工現場のニーズに応えるべくSR-45の利点を生かし更に改良を加えたSR-45の後継機としてZERO SR-60を開発したので紹介する。

2. SR-60の構成

SR-60本体の主要構成を図1に示す。

クレーンフックにより、SR-60本体の全

体質量を支える「①ハンガー装置」、打込み能力を増大させる積層型「②カウンターウエイト」、バイブロの高周波振動を緩衝させる「⑥防振ゴム」、上下振動を発生させる「⑤起振機」、その起振機内の偏心体を回転させる「④油圧モータ」、偏心エネルギーを任意に可変制御できる「③変換装置」、偏心体を高速で回転させるため、軸受を強制的に潤滑及び冷却する「⑦潤滑用ポンプ／モータ」、「⑧油圧チャック」は杭を把持する装置であり、起振機から発生した振動エネルギーを確実に杭に伝達する役割を果たしている。

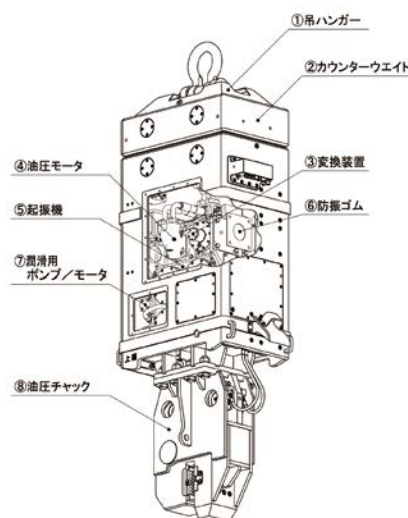


図1 SR-60 主要構成

* 調和工業株式会社 代表取締役社長

3. 全体の構成

SR-60の駆動方式は、エンジン式油圧パワーユニットからの圧油を駆動源とし、「⑤起振機」に組付けられた「④油圧モータ」で偏心体を高速回転させ、発生する遠心力を利用して振動を発生させる。

従来型バイプロハンマにおいては起動時にクレーンブーム及び地盤の共振域を越えていない状態から振動を発生させると、クレーンブーム及び地盤に共振現象が発生し公害的な振動や騒音が発生する。

これを回避するため、新たな発進機構装置である「③変換装置」を独自に開発した

ことで、偏心体の位置を任意に制御することが可能となり、超高周波運転でのゼロ起動・ゼロ停止制御及び運転時の振幅調整が可能となりました。

4. 変換装置の概要

4-1. 変換装置の構成

変換装置の構成を図2に示す。

変換装置とは油圧式トルクアクチュエータ（ベーン式）機能を取り入れ、三つの主要構成部品（①ロータリージョイント、②変換軸、③ケーシング）によって形成され、その簡素な構造から小型軽量化を実現しています。

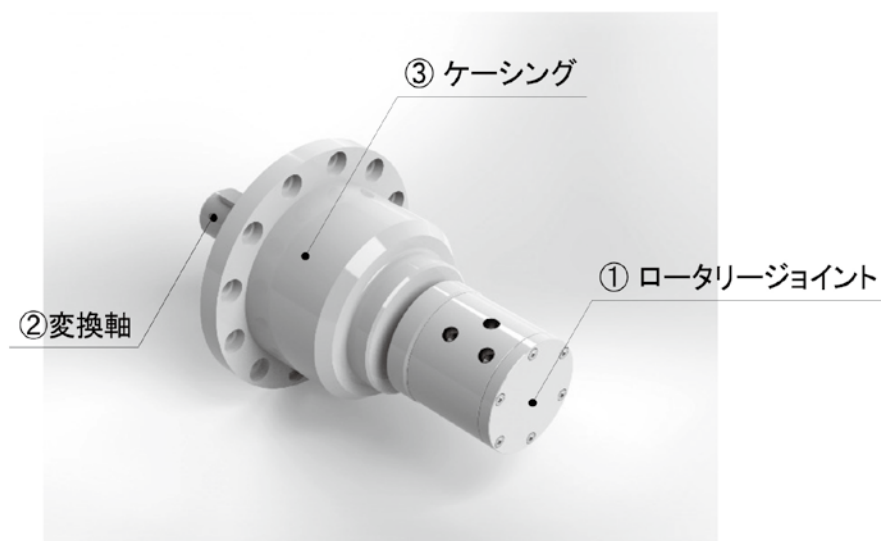


図2 変換装置の構成

4-2. 変換装置の作動

変換装置の作動概要を図3に示す。

「①ロータリージョイント」は、A・B・ドレンポートの三つのポートが設けてあり、油圧パワーユニットから送り出される外部油圧がA・Bポートのいずれかに送ら

れると変換装置内部に設置されている油圧室に油が加圧され「②変換軸」がA方向又はB方向に90度回転します。この回転力が従動軸と直結された可動ギヤ、可動偏心体に伝達されることによって超高速運転時の回転制御も容易となりました。

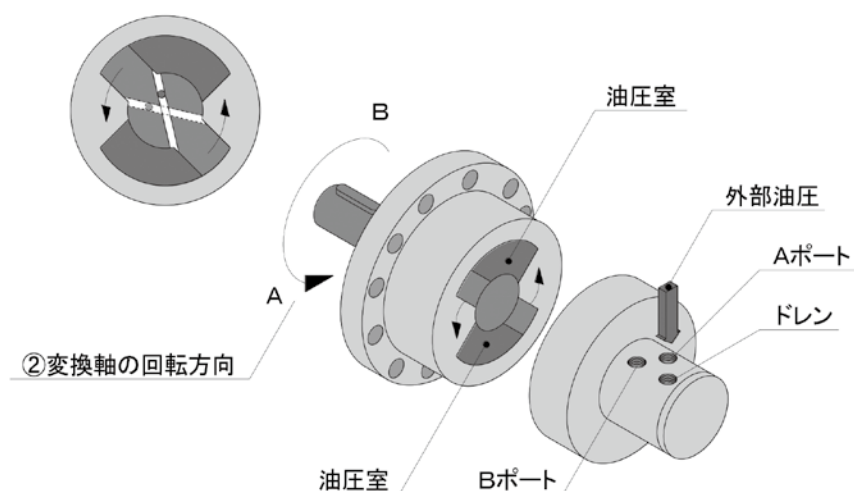


図3 変換装置の作動

5. ゼロ起動・ゼロ停止の作動原理

SR-60のゼロ起動・ゼロ停止の作動原理

概念図を図4に示す。

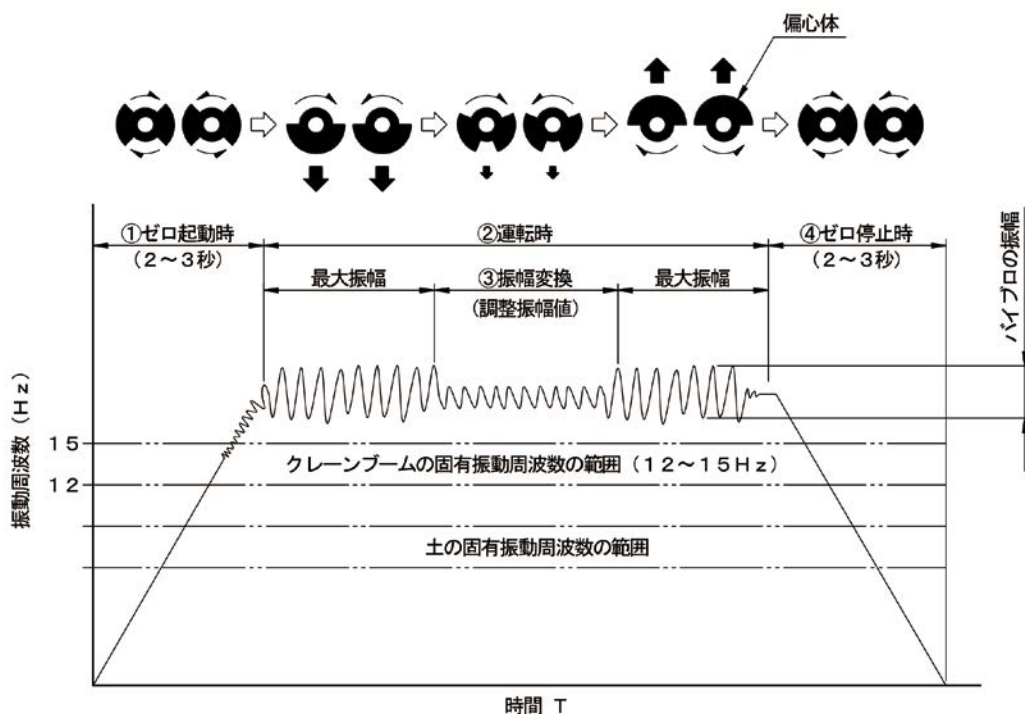


図4 SR-60 ゼロ起動・ゼロ停止の作動原理概念図

SR-60の起振機内部の構成を図5に、偏心体の動作図を図6に示す。

①ゼロ起動とは、一軸上で固定偏心体と可動偏心体が180度相対し、偏心モーメントがゼロの状態では回転を開始する。

所定の振動周波数に達するまでSR-60の振動は発生しません。

②運転時は、地盤とクレーンブームの共振域を超えた振動周波数に達したところで、起振機に取付けられた変換装置に油圧パワーユニットより圧油を送り、変換装置の軸と可動偏心体を回転移動させることによって偏心モーメントが最大となり、SR-60の振動が発生します。

③振幅変換は、SR-60運転中でも変換装置に送る油圧力を変えることで、可動偏心体の位置を任意に移動させることで、上下振幅の幅をゼロから最大まで自由自在に調整することができます。

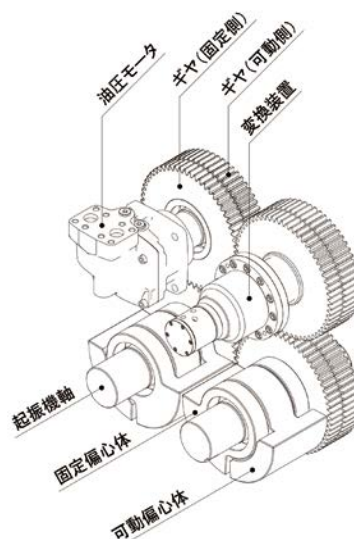


図5 SR-60起振機内部の構成

④ゼロ停止は、ゼロ起動と同じく、一軸上で固定偏心体と可動偏心体が180度相対し、偏心モーメントがゼロの状態では運転を停止させます。ゼロ停止によって、クレーンブームや地盤が共振することなく、速やかに停止することができます。

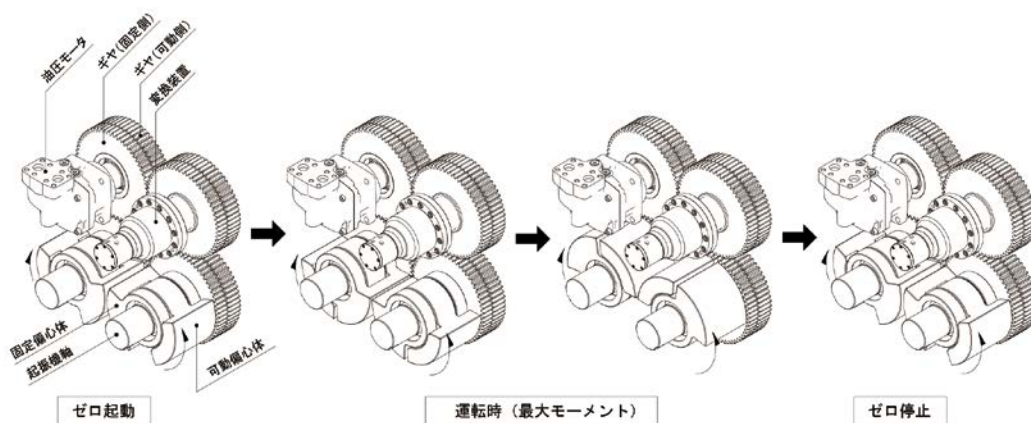


図6 SR-60の偏心体動作図

6. おわりに

今回ご紹介した環境対策型建設機械として、ゼロ起動・ゼロ停止機構を備えた油圧式可変超高周波杭打抜機「ZERO SR-60」を開発し、市場投入を開始しました。SR-60独自の発進機構は、起動・停止運転時に発生する共振現象を解消することが可能となり、かつ、機械騒音や地盤振動を最小限に抑えることが実現化されました。

また、SR-60の駆動源である油圧パワーユニットは、環境に配慮した第3次排出ガスエンジンを搭載し、作動油圧オイルはECOオイル（生分解性作動油）を使用し、環境汚染防止に配慮しています。

最後に今後の課題として、SR-60における生産性を向上させるため、ICT技術を組み合わせた施工管理システムの開発に努め、お客様が満足する商品開発を行っていく所存です。



写真 1 SR-60 鋼矢板施工



写真 2 SR-60 鋼管杭施工



『伊豆研修センター』

運営幹事会 幹事 兼八 淳
日本通運株式会社 業務部
次長（作業品質・購買）

標題は、弊社の研修施設の旧称です。現在の正式名称は「NEX-TEC伊豆」（NIPPON EXPRESS Training & Education Centerの頭文字をとっています）ですが、私も含めて、今でも「イズケン」と呼称する社員が多いです。

この伊豆研修センターですが、元々は、今から約50年以上も前となる、1966年に、「伊豆富士見ランド」として開業した大型のレジャー施設で、観覧車やプール等、多様な遊戯施設がありました。

私も大学4年生の時に、当時の学生は誰もが経験したと思われますが、この施設で2泊3日の内定拘束をされ、終日園内で遊んだ記憶があります。

しかしその後、来園者の減少に伴い、1999年に閉園、翌年の2000年から弊社の研修施設として活用されることになり、現在に至っています。

そして、今では、ここ「イズケン」で、弊社のグループ会社も含めた多くの社員が、安全・品質に関する技能・技術・意識を高めており、当社の「安全・品質」に関わる中心的な研修施設となっています。

立地は、静岡県伊豆の国市（伊豆箱根鉄道の菰山駅から車で約20分）の小高い山の上にあり、言わば陸の孤島です。研修センターの周りには何もないため、施設内での自動販売機でしか買い物ができず、研修に

専念するには絶好の環境です。また、冬の晴れの日に見える富士山は絶景で、研修生もよく記念写真を撮っています。

前置きが長くなってしまいましたが、なぜこのセンターのことを書いているのかというと、私自身が1年7ヶ月の間、伊豆研修センターの教育担当者に就いていたからです。

短い間でしたが、私の会社人生において、良い意味でも悪い意味でも密度の濃い期間でした。

私が担当する研修が始まると、事務局として、1週間前後、研修センターに研修生と一緒に泊まり込みになります。本社に席はありましたが、8月、12月、3月以外の月は、ほとんどの日が研修センターでの勤務で、本社に勤務することは月に数日しかありませんでした。

研修では私は講師ではありません。講師を務めるのは、全国の支店から派遣される優秀なドライバー、フォークリフトオペレーターです。弊社ではこの講師を「指導教官」と呼びますが、彼らが技能系社員の安全意識を高める主役となっているわけです。

私もこの指導教官から大事なことをいくつか教わり、今でもその教わったことを日々の業務、生活の中で実践し続けています。恐らく、伊豆研修センターでの経験がなかったら、今の私はなかったと思っています。

私の伊豆研修センターでの仕事は、指導

教官に怒られることから始まりました。今でもその時のことを、よく覚えています。

最初に怒られたのは、「日通体操」です。弊社には独自の体操があり、労働災害防止を目的として、毎日始業前に行っています。当然ですが、体操には正しい手順、やり方があります。私の体操を見た教官から「この研修の責任者が正しい体操ができなくては、示しがつきません」と言われ、体操の指導を受けました。そのおかげで、研修生に体操の指導ができるまでになりました。

次に怒られたのは、「イス」です。伊豆研修センターでは、研修中に守らなければならないルールがあり、その一つに「離席時はイスを必ず机の中に入れる」というのがあります。イスを中に入れなければ、見映えが悪く、イスの後ろを通る人の邪魔にもなります。人間一度怒られると、防衛反応が働くのか、それ以降は必ずイスを中に入れるようになり、今では、すでに習慣化され、どこでも自然とできるようになりました。

私にとって、この二つの出来事が大きな影響を与えたと言っても過言ではありません。

この二つに共通して言えるのは、意識してやらなければならない、ということです。

私は、この経験があったおかげで、常に意識した行動を心掛けるようになりました。

安全運転のための行動、例えば「指さし呼称」「安全運転呼称」「車間距離の保持」等、いずれも意識しなければできません。

したがって、『安全』を学ぶ伊豆研修センターでは、この「意識してやる」ということに重点を置いています。

研修センターのルールを守る、日通体操を正しく行う、というのも、研修生に「意識した行動」を実践させるためのものです。

また、労働災害の原因となる『不安全行動』も、一切禁止しています。

特に、普段の生活の中で、無意識のうちにやってしまいがちな次の三つの行動については、開講時に理由を添えて説明してきました。

① 研修施設内では走らない。

走る時は、気持ちが焦っていたり、慌てていたりするもので、つまずいたり、転んで、ケガをしてしまうリスクが高くなります。

② ポケットに手を入れて歩かない。

もし転んだ時どうなるでしょう。手が不自由なため、顔面から落ちて大ケガします。ポケットに手を入れる必要性は全くありません。

③ 歩きスマホ（携帯）をしない。

ながら行為の一つであり、大変危険です。視界が狭まり、死角が多くなるため、段差に気付かない、他人とぶつかる、といったリスクが高くなります。

これらの三つの行動も、当然ですが、意識しなければできません。

もし、研修中にやっている研修生を見かけた場合は、『安全を学ぶ場所で不安全な行動はしてはいけない』とその場で注意します。

弊社には、『安全はすべてに優先する』という方針があります。これは、弊社全社員に向けたものであり、全社員が常に安全を念頭に置いた行動を心掛けなければなりません。

そのためには、くどいようですが、「意識して行動する」ことが必要です。

一人でも多くの社員ができるようになれば、交通事故・労働災害は、自ずと減っていくはずで、事故・災害ゼロを目指して、「今日も1日ご安全に」。

第61回

我が社のセールスポイント

富山県支部

コマツカスタマーサポート株式会社 中部カンパニー 高岡支店

平成20年3月号（174号）より、「我が社のセールスポイント」と題して掲載しておりますが、今回で61回となりました。内容については、会員同士が切磋琢磨する情報を提供する場として、通年表彰の「企業賞」の受賞会社に「安全管理」、「整備・検査」、「法令遵守」、「技術開発・考案」、「環境」などについて記載して頂き、労働災害防止活動の向上や技術開発・改良・考案等に対する意欲の向上等を図る場を提供することを目的としています。

今回も、前回に引き続き平成31（令和元）年度第8回定時総会に於いて表彰された富山県支部のコマツカスタマーサポート株式会社中部カンパニー 高岡支店様に執筆をお願い致しました。

1. はじめに

当社は、日本国内において建設機械の販売、サービスを手がけるコマツ建機販売、同じく建設機械のレンタルを手がけるコマツレンタル、また、フォークリフトの販売、サービスおよびレンタルを手がけるコマツリフトが各事業を展開してまいりました。昨今の目まぐるしく変化する外部環境や多様化する企業責任への対応を果たした上で、成熟化して久しい日本国内の建設機械市場、フォークリフト市場において持続的に成長を遂げていくために、2018年4月にコマツ建機販売株式会社・コマツリフト株式会社・コマツレンタル株式会社の3社が統合し、コマツカスタマーサポート株式会社として発足いたしました。

2. 会社概要

(1) コマツカスタマーサポートの会社概要

- 会社設立 1967年3月
- 代表者 代表取締役社長 三浦 和明
- 所在地 東京都港区白金1-17-3
- 資本金 9億5000万円
- 売上高 2902億円（2019年3月期）
- 従業員 4568名（2020年1月現在）



本社が入居するNBFプラチナタワー

(2) 中部カンパニーの概要

- 代表者 カンパニー社長 杉山 靖
 ■所在地 岐阜県岐阜市東鶯3-25-1
 ■売上高 187億円(2019年3月期)
 ■拠点数 31拠点
 ■従業員 514名(2020年1月現在)
 ■担当エリア 下表のとおり

	建設機械	建機インテ	フォークリフト
石川県			○
富山県			○
長野県			○
岐阜県	○	○	○
愛知県	△	△	○
静岡県	○	○	
三重県			○

愛知県は一部のみ担当

(3) 支店の概要

- 支店名 高岡支店
 ■所在地 富山県射水市寺塚原422-3
 ■従業員 20名(2020年1月現在)
 ■検査者 14名(同上)

3. 安全管理の取り組み

(1) コマツの安全衛生の基本

安全・健康、コンプライアンスは最優先。



優先順位 Safety ⇒ Law ⇒ Quality ⇒ Delivery ⇒ Cost
 自分、家族、友人に 社会に対する お客様に対する 代理店・DBに 会社存続のための
 対するコミットメント コミットメント コミットメント 対するコミットメント コミットメント

安全衛生に関する社長メッセージ

(2) コマツの健康管理



健康に関わるニュースの配信



脱タバコ宣言

(3) 中部カンパニーの取り組み

安全健康推進委員会を毎月月初に開催しています。

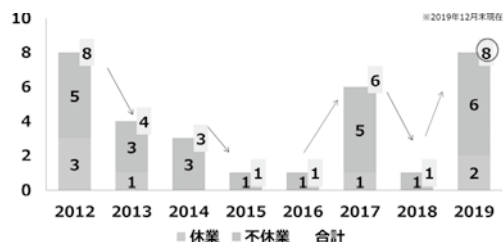
この委員会では、約2時間の会議を二部制にし、TV会議とTeamsを利用して各拠点（31拠点）を結び約90名の社員が参加しています。カンパニー本社からは、社長をはじめ各部課長、ユニオンが参加します。

内容は、産業医や保健士からの健康に関する情報提供や質疑応答、発生した事故や労災について要因解析や対応策について議論の場を設けるなど、社員の意見が出せる委員会を目指しています。

委員会の内容はその後、拠点内の安全

ミーティングで全体に周知され、社内全体で共有できる体制を整えています。

社員の意見を聞き、皆さんが納得できるよう説明するなどして、基本的な活動を進めています。



10月末現在で『8件の労災』が発生（休業災害2件）
過去最悪のペースで労災が発生している。

中部カンパニーの労災発生件数

件数は増加しているが、腰痛や熱中症などの災害が多くを占めた。身体への負担を軽減させる対策は実施していたが、上乗せの対策を現在検討中

4. コンプライアンスへの取り組み

コマツグループでは、コンプライアンスを単に法令遵守のみととらえるのではなく、ビジネス社会のルールも含め定義しており、これを守ることを社員に求めます。

これをグループ社員全員が理解し行動するよう「コマツの行動基準」として取りまとめ、全社員に配布のうえ、理解を深めるために定期的に教育を実施しています。

インターネットを利用した多くのメリットがあるeラーニング（e-Learning）の活用もその一つです。

また、全拠点にはコンプライアンス5原則を掲示し、日々社会から信頼される企業をめざしております。



コマツの行動基準

コンプライアンス5原則

1. どんな状況であっても、ルールを遵守し、社会からの信頼に応えなければならない。
2. ルールを知らないことは、言い訳にならない。分からないことは、自分で調べ、重要なことは専門家にも問い合わせなければならない。
3. 不正やミスは、直ちに関係部門に報告し、隠したり、隠したりしてはならない。
4. 不正やミスは、速やかに是正するとともに、有効な再発防止策をとらなければならない。
5. 報告や通報を妨げたり、報告・通報を理由に不利益な取扱いをしてはならない。
(会社として、報告・通報したことを理由として不利益な取扱いをしないことを確約します。)

社会から真に信頼される企業を目指し、SLQDCの優先順位と上記の原則を遵守するようお願いいたします。
マネジメントを含めた社員一人ひとりが、現場・現場・現場を重視し、共に問題解決に取り組みましょう。

コンプライアンス5原則

5. 技術開発・考案

当社の主力である、エンジン式フォークリフト同等の機動力を実現したバッテリー式フォークリフト「FEシリーズ」、建機の機械技術を応用した油圧駆動式ディーゼルエンジンフォークリフト「FHシリーズ」は、他社にない技術でものづくりを差別化し、商品とサービスを評価してくださるお客様とのお付き合いを拡げていこうとしています。

こうした「特長機」はLCC（Life Cycle

Cost) を重視し環境志向が強いお客様がターゲットになってきます。

「FEシリーズ」は、バッテリーの補水作業を行う必要がないイージーメンテナンスバッテリーや、独自の急速充電システムを採用し防水性が高い事が特長となり、エンジン車の代替えを中心に販売を広げています。

「FHシリーズ」は電子制御HST (Hydro-Static-Transmission)、可変ポンプCLSS (Closed Center Load Sensing System) を搭載した3.5t～16tのディーゼルエンジンフォークリフトです。

高稼働、高負荷な現場で利用でき、性能面に加え燃費削減効果も大きいことが差別化となり、お客様が広がっています。

また、「FE、FHシリーズ」から「20～25t車」まで搭載されている車両情報を遠隔で確認できるシステム「KOMTRAX」は、コマツ車両の特長な機能として評価され差別化に繋がっています。



FEシリーズ FE25-1

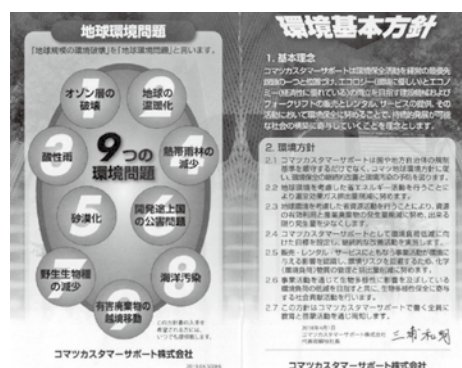


FHシリーズ FH160-1

6. 環境への配慮

お客様へ環境に配慮した機械の販売だけではなく、2018年にISO14001を取得し、自社の環境への取り組みにも力を入れています。

(1) 環境基本方針



環境基本方針

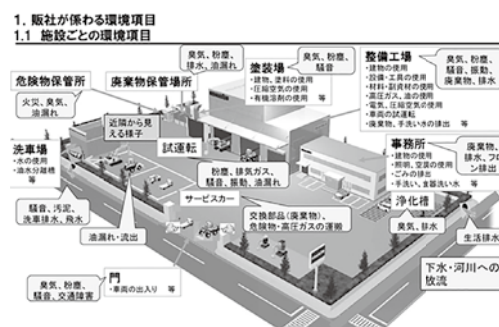
日常業務で発生する「廃棄物」を適切に分別し保管管理をする。

不要な設備や車などの「空運転」を止める。
油等がこぼれない措置や、流出した場合の対処方法を拠点内で訓練する。

など、日頃の活動が環境配慮に繋がります。

また、事業活動では環境性能の高い商品を販売することで社会の期待に応えます。

(2) 拠点内の環境に関わる管理点



施設ごとの環境項目

(3) 環境性能・経済性の高い商品の販売



フォークリフト特長機

7. 社員の技術向上・教育

(1) コマツグループ全体の取組み

ATC (Advanced Technic Contest) はコマツ全国ディーラ会、小松フォークリフト販売店協会、コマツが平成2年から毎年開催している技能オリンピックです。

各地区での予選会を勝ち抜いた精鋭が、石川県小松市にあるコマツウエイ総合研修センタに集結し技術を競い、各部門で最優秀賞を勝ち取る事を目指し、日々技術・知識を磨いています。

最終的には技術・知識の向上がお客様からの信頼を得られる最大の近道であると確信しています。



第29回ATC大会の表彰式の模様

(2) 中部カンパニーの取組み

2019年度から新入社員教育を見直し、入社した全員に対し6か月間に渡り集合教育を実施する事にしました。

知識・技術だけではなく、特に安全・資格の取得に力を入れ、半年間を計画的にすすめ、個人差を極力なくすようにしました。

9月30日に社長含め本社部長も参加しての研修報告会を開催しました。

10月1日から各拠点へ配属になった後も、毎月の定期的な集合教育を続け、新入社員は特に、売上よりも教育に重点を置いた方針としています。

7月度 KOMATSU											
	主行事	場所	教育内容	費用	工数	建設	小松	リフト	山石	伊	山
22	社内教育/健康診断	小松IoTセンタ 名師中央 (本社)	小松IoTセンタ健康診断		8H	○	○	○	○	○	○
23	火災後教育	岐阜支店	天井クレーン・移動式クレーン・リフト運用実習		8H	○	○	○	○	○	○
24	本社内新人教育	富山支店	トルク管理について 工具、測定器具の扱い方		8H	○	○	○	○	○	○
25	水害後教育	那珂川センター	組立班	16,000円	8H	○	○	○	○	○	○
26	金銭後教育	那珂川センター	組立班		6H	○	○	○	○	○	○



研修報告会からの一部抜粋資料

8. おわりに

SLQDC (Safety → Law → Quality → Delivery → Cost)、コマツ行動基準、そしてコンプライアンス5原則に則り、社員が安全で安心して働ける職場づくりを目指し、また、お客様に選ばれ続ける会社となるように活動しております。

冒頭にもありましたように2018年4月に3部門が一つの会社となりましたが、お互いの強みを生かし、また、オーナー販売会社様とも強力な協力体制を築き、オールコマツとして社会からの期待に応え、現状に満足せず今迄以上に信頼される企業に成長出来る事を目指し、努力していく所存です。

[高岡支店 松波秀文]

 コーヒーブレイク 第120話(最終話)



人生初！二重橋を渡る

 寺岡 晟*

令和2年正月2日、朝7時に早起き？した。僕は、素早く身支度を整えて家内に「それじゃ、行ってきます！」と声をかけて我が家を飛び出した。

6時に起きるつもりが、昨夜の孫たちを交えてのおせち料理でのお屠蘇が効いたのか、寝過ごしてしまった僕だ。

幸いお正月の電車内はガラガラ状態でどこでも座れるのが嬉しい。同じ車両に乗り合わせている乗客は5、6人しかいない。僕の前座っている若者はスマホから目を離さない。

こんなに早くから何処へ行くのかなあ、初詣にしては普段着っぽい、まさか僕と同じ目的地じゃないよなあ、などと電車に揺られながらつぶやく僕だった。

振り返ると昨日、元旦の朝のことだ。

TVで明日の皇居での一般参賀には、天皇皇后両陛下と共に上皇両陛下もお出ましになられると報じていたとき、僕はいきなり決心したのだ。

これまで一般参賀の様子がニュースで報じられるたびに、一度は行ってみたいと思っていたが、それは思うだけでしかなかった。毎年、一般参賀の光景をTVを通して観るたびに「よし、来年こそ！」と、暖かい暖房の効いた我が家で思うだけで、それを何十年も繰り返してきた僕だった。

「よし、行ってみよう！」それは、いきなりの決心だった。

家内に「明日、一般参賀に出かけることにした。一緒に行くかい？」

「行ってらっしゃい、私は孫たちがいるから出かけられないわよ。朝は冷えるわよ」と家内が笑っている。

「大丈夫だよ、気合が入っているから。天皇陛下と上皇陛下にご挨拶をして来るよ！」

そして今、僕はまだ薄暗い空の下、一路皇居に向かっている。地下鉄日本橋駅で下車し、大手町に向かう永代通りに出た。

朝冷えの空気が頬に当たるが、気持ちが高揚しているのか、心地よく感じる。

大手町まで来ると、大勢の人が歩いていった。それも皇居に向かっている僕と真逆に向かって来るではないか。僕は、それら大勢の人の流れをかき分けながら前へ進む形になってしまった。

それらの人たちが手にしている小旗は日の丸ならず、読売新聞の旗だ。…そうだった、今日は箱根駅伝スタートの日だ。

今年の優勝はどこだろう？ 東海大学が連覇するか？ それとも青山学院大学のリベンジ成るか？ と思いながら歩くが、あまりにも人が多いのに圧倒される。

それでもようやく皇居前を走る内堀通り

 *(株)エイム・コンサルツ 代表取締役

に出ることができた。通りの向こう、大手門沿いの道は皇居前広場に向かって人の列が動いていた。

内堀通りは交通規制で車両の通行は完全にストップされていて、至るところに誘導と警備を兼ねて大勢の警察官が立っていた。

警察官の誘導に従って内堀通りを横断して人の列に加わり、ゆっくりだが少しずつ皇居前広場に近づいていった。広い皇居前広場は大勢の人でいっぱいだった。

左手に丸の内のビル街、右手には皇居の緑の木々が横一杯に広がっている。そして空は雲一つない日本晴れの真っ青な空が広がっている。

この瞬間、ますます僕の胸は高揚してきた。

皇居前広場は規制のロープが張られ、それぞれの列には数字の立て札が立てられていた。1番から2番、3番と記された立て札に沿ってズラリと多くの人が並んでいる。

僕はその立て札の4番の列に誘導されて、並んだ。日本橋駅から歩き出してちょうど30分が経っていた。今、僕が立っている4番札の列で、ひたすら案内があるまで待つことになっているようだ。



4番立て札と人の列

最初のお出ましまでには、まだ2時間もある。周囲を見渡すとカップル（若いも若きも）、家族連れ、グループ、大きな日の丸を掲げた右寄りの方々、大学の体育会と思しき学ランの若者たち、外国人（アジア系、欧米系、イスラム系さまざま）、そして僕と同じような一人だけの人、文字通り色とりどりの人、人である。

そして次々とその列は増えていく。

ザッと見渡して、一つの列は横が20人弱、縦が500人ぐらだから一つの列でザッと2千人はいるかもしれない。その列が何列もあるのだから2～3万人くらいはいるのでないかなあ、とキョロキョロ見渡しながら、人生でこれだけの人数の人を間近に見るのは恐らく初めてのように思った。

しかも、こんなに大勢の人がいる割にはとても静かなのには驚いた。聞こえてくるのは、僕の周囲の人たちの話し声、ときどきスピーカーから流れる警察のDJポリスのアナウンスの声ぐらいで、これだけ大勢の人が集まっているのに、である。

やはり皇居という場所が場所だけに、僕も含めて善良なる日本国民だけあって自制しているのだろう。

喉が渇くがトイレも近くにないので、これも自制せざるを得ない。持参のお茶のペットボトルをチビチビ飲むことにした。

さて、話し相手もない孤独な？僕は周囲をそっとウォッチング。

隣のおじさんは、これまで何度か一般参賀に来られているのか、手慣れた様子で持参の折りたたみ椅子に座って、これも持参の文庫本を悠然と読んでおられる。…来年

は、折りたたみ椅子と文庫本は必携だなあ、と秘かに思う僕だ。

そう、賢者は経験から学ぶのである。しかし、ウォッチングばかりでは時間を持て余してしまう。

僕の後ろに高校生と思しき男の子が2人、ひとりはこちらも文庫本を読んでいる。もうひとは英語の参考書を読んでいる。…真面目な高校生たちだなあ、感心だ。

「受験生なの？」と声をかけると文庫本を読んでいた子が「そうですが、僕らは来年が受験なんです。来年度から英語の試験制度が変わるので…」

それをきっかけに高校生二人組と話が弾むことになった。横浜から来たという高校生2人は、共に理工系に進みたいとのこと、それも建築関係で、建築家の安藤忠雄氏のような人になりたいとのこと。

高校生と話を交わすことは滅多にない僕にとって、とても新鮮な出会いであり、会話を楽しむことができた。ハキハキとした2人の高校生に接して、彼らがこれからの令和の時代をつくっていく人なんだなあ、と思うととても嬉しく、頼もしさを感じた。

マスコミが日本の未来を憂うようなことだけにフォーカスして伝えているけれど、日本の若者は捨てたモノじゃない、未来を感じさせるエネルギーを持った若者が育っているんだ、と素直に感じ取ることができた。

そして待つこと2時間半、待ちに待った嬉しいアナウンスが聞こえてきた。

「皆さま、これより1番の列から順に二重橋に向かっていただきます。ゆっくりと歩いてお進みください。駆け出したり、立

ち止まったり、列を乱すと大変危険ですので、警察官の誘導に従ってください」



二重橋に向かう参賀の列

アナウンスがあつて10分後、いよいよ僕のいる4番の列が動き出した。

またもや気持ちが高ぶってきた。

いよいよ皇居に入るのである。玉砂利を踏みながら少しずつ、ゆっくりと、しかし確実に列は進んでいく。

そして、とうとう二重橋を渡り始めた。右手には朝日に輝く真っ白な伏見櫓が見える。



二重橋と伏見櫓

正面には皇居正門が見える。…今、僕は二重橋を渡っているんだ。

ますます気持ちが高揚する僕だ。

これから、すべて人生初の体験が始まるのである。これで高揚しないはずがない。

皇居正門前には礼装の皇宮護衛官が直立不動で立哨している。



皇居正門前の皇宮護衛官

気が引き締まってきた。

門をくぐると、今度は伏見櫓を左手に見ながら橋を渡る。先ほど渡って来た橋を皇居正門石橋と言うそうで、今、渡っている橋が皇居正門鉄橋で、これが正式の二重橋だそうだ。

その鉄橋を渡り、比較的小ぶりの門をくぐると、やや左手によくニュースで目にする宮殿の緑の大屋根が見えてきた。

すでに先に入場した1番～3番の列の人たちが広場に列を組んで立っていた。大勢の人がいるにもかかわらず、やはり静かだ。僕らの4番の列のグループがこれも静かに3番の列の隣に並んでお出ましを待つことになる。

見上げると空は青く、平和日本を象徴するかのようだ。しばらくすると少し雲が出てきたが、気になるほどではない。

広場が人々で埋まった頃、待望のアナウンスが始まった。

「皆さま、10時10ごろ天皇皇后両陛下、並びに上皇上皇后両陛下、秋篠宮両殿下、眞子内親王、…がお出ましになります。」

広場の空気が一気に変わった。

そう、それは高揚した気分が広場全体を包んでいるかのようだ。

待つこと5分、僕も周囲の人も見つめる方向はひとつ、お立ち台だ。そして前触れなく天皇陛下が、次いで雅子皇后陛下がお立ち台にお立ちになられた。続いて上皇陛下、美智子上皇后陛下も。そして横一列に宮様方がお並びになられた。



天皇皇后両陛下と上皇上皇后両陛下と宮様方

壮観な光景だ。見事な光景だ。

広場に歓声が沸き起こった。陛下、宮様方が手を振られると、歓声があちこちから沸き起こる。

天皇陛下が胸ポケットから白い紙を取り出された。お言葉を述べるためだ。広場の歓声はピタッと止んだ。

「新しい年を迎え、皆さんとともに祝うことを嬉しく思います。その一方で、昨年の台風や大雨などにより、いまだご苦勞の多い生活をされている多くの方々の身を案じています。本年が災害のない、安らかで良い年となるよう願っております。年の始めに当たり、わが国と世界の人々の幸せを祈ります。」

慈愛に充ち、しかも力強い張りのあるお声のお言葉だった。

お言葉が終わると広場の人々から、僕も

そのひとりとして、「天皇陛下万歳！」の
声が沸き起こる。バンザイ、バンザイ
と声を出すと、なぜか幸福感が身を包む。

目頭が熱くなる。

感動という言葉だけでは足りない、得も
知れない熱い気持ちが沸き起こってきた。
日本に生まれてよかった、日本人でよかった、
幸福だ、そんな気持ちが僕を揺さ振る。

天皇陛下の笑顔、雅子妃の微笑み、そして
上皇陛下の笑顔、そして嬉しいことにお
元氣そうな美智子上皇后陛下の優しい気な微
笑みが見える。特に美智子上皇后陛下のお
姿を直接拝見するのは、僕が小学校5年生
のとき、僕の故郷の熊本へお越しになられて
以来のことだから60年ぶりのことだ。

そして、時間にして僅か5分間ほどだが、
素晴らしい5分間の一般参賀が終わった。
僕も含めて、帰途に就き始めた人たちの顔
は、みな笑顔だ。



参賀を終えて満面の私

宮内庁の建物を横目に歩き、程なく桔梗
門から皇居前広場に出た。僕にとって、人
生初の一般参賀が終わったのだ。

思い成就の令和2年正月2日は、今日の
青空と同じで清々しい気持ちで帰途に就く
ことができた。

さあ、新たな年のスタートだ！

そして、コーヒブレイク最終話完結です。

編集担当者より

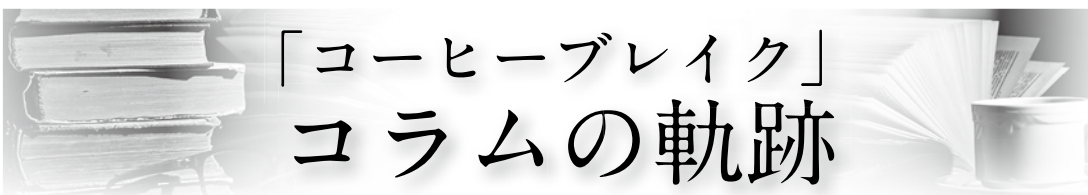
ミレニアムの2000年（平成12年）に掲載を開始した当機関誌の名物コラム
「コーヒブレイク」が、本号120話をもって、20年間の連載に幕を下ろすことにな
りました。

長きに渡りご声援をいただいた読者の皆様方に、そして20年間執筆いただいた寺
岡先生に感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。歴代の編集担当者を代表して改めて
御礼申し上げます。

今回、終了にあたり20年間の「コラムの軌跡」として、全120話のタイトルを
一挙掲載します。興味をそそられた方は過去の機関誌を引っ張り出し、再度読んで
みるのも一興ではないでしょうか。

そして寺岡先生から、読者の皆様に、感謝の気持ちを込めた「ご挨拶」をご寄稿
いただきましたのでご紹介し、掲載を締めさせていただきます。

ご愛読、本当にありがとうございました！！



「コーヒーブレイク」 コラムの軌跡

20年間全120話のタイトルを一挙掲載！

掲載 号	発行年月	話数	タイトル	編集 担当
126	2000年-3月号	第1話	西洋と東洋では大きく違うコインのデザインの物語るものは？	本田 (12話)
127	-5月号	第2話	2000年前も今も人間は同じ!?	
128	-7月号	第3話	バナナが宝石だったあの頃を覚えていますか!?	
129	-9月号	第4話	異端の食べ物から西洋料理の主役へとジャガイモを押し上げた立役者は？	
130	-11月号	第5話	遺伝子解析という言葉のもとに人間観が変わってしまう!?	
131	2001年-1月号	第6話	人の振り見て我が振り直せ	
132	-3月号	第7話	あなたは21世紀にどんな意味を見つけられるか？	
133	-5月号	第8話	南の島はなぜ芸術家を魅了し続けるのか？	
134	-7月号		休載	
135	-9月号	第9話	数年後、夏の風物詩である花火の楽しみ方が大きく変わるかも知れない!?	
136	-11月号	第10話	突然ですがガーデニングにはまっています！	
137	2002年-1月号	第11話	2002年正夢！？	
138	-3月号	第12話	そうだ京都、行こう。	
139	-5月号	第13話	休息的！？台湾温泉事情	
139	-7月号	第14話	快食的！？台湾夜市市場事情	
141	-9月号	第15話	原風景的台湾鉄路愉快旅!?	
142	-11月号	第16話	衝撃出会台湾茶	
143	2003年-1月号	第17話	今年もたくさんの方に会いたい	
144	-3月号	第18話	ビールブレイクに乾杯	
145	-5月号	第19話	ぶらぶらゆったり江南水都に行く	
146	-7月号	第20話	旅で出逢う嬉しさ	川村 (33話)
147	-9月号	第21話	臭い？キューケンホフ！！	
148	-11月号	第22話	命がけ？！ 長白山。	
149	2004年-1月号	第23話	ひと目ネッシーに会いたい	
150	-3月号	第24話	威風堂々のハイドパーク	
151	-5月号	第25話	アンコールワットの風に、うつらうつら！	
152	-7月号	第26話	我が旅の友	
153	-9月号	第27話	百聞不如一見！	
154	-11月号	第28話	愉快也！中国式散歩事始	
155	2005年-1月号	第29話	チェンマイの恋人	
156	-3月号	第30話	白馬童子！？	
157	-5月号	第31話	ゴッホ再会	
158	-7月号	第32話	我が街!人形町	
159	-9月号	第33話	戦艦大和	
160	-11月号	第34話	室生寺伽藍	
161	2006年-1月号	第35話	雪やコンコン、飛行機来ん来ん、降って降って、大雪大連	
162	-3月号	第36話	体感！世界遺産登録第1号の日の出	
163	-5月号	第37話	あ、Voleurだ！	
164	-7月号	第38話	パスポートは私の誇り	
165	-9月号	第39話	好吃！！芒果牛雪片	
166	-11月号	第40話	マル出し事件！？In世界遺産	
167	2007年-1月号	第41話	一都一道二府四十一県・・・アト二県	
168	-3月号	第42話	南船北馬	
169	-5月号	第43話	目からウロコの山水画	
170	-7月号	第44話	「人生の扉」聴きましたか？	
171	-9月号	第45話	お魚に喰われた私！	
172	-11月号	第46話	ツウナルユウハオチャンツァイ	
173	2008年-1月号	第47話	この広い空の下で	
174	-3月号	第48話	有朋自遠来、不亦楽乎	
175	-5月号	第49話	ハロー台湾茶	
176	-7月号	第50話	「娘と私」	及川 (27話)
177	-9月号	第51話	台湾夏味紀行	
178	-11月号	第52話	皇居一周歩遊6347歩	
179	2009年-1月号	第53話	コレ何だろう？	

掲載号	発行年月	話数	タイトル	編集担当
180	-3月号	第54話	そうでもないですよ！	及川 (27話)
181	-5月号	第55話	干支一巡の春	
182	-7月号	第56話	「春は花 冬は雪」	
183	-9月号	第57話	47, 245	
184	-11月号	第58話	一瞬にして	
185	2010年-1月号	第59話	原風景後小学校	
186	-3月号	第60話	アーカイブ10年	
187	-5月号	第61話	新しい人生のはじめかた	
188	-7月号	第62話	至福のとき♪	
189	-9月号	第63話	胸高鳴る基隆の夜♪	
190	-11月号	第64話	日新又新	
191	2011年-1月号	第65話	羽田発松山行き223便	
191	-3月号	第66話	恩師	
191	-5月号	第67話	そのとき。これから！	
191	-7月号	第68話	日本加油！	
191	-9月号	第69話	道中在静！淡水河クルーズ	
191	-11月号	第70話	2011ホテルマジェスティックサイゴン	
197	2012年-1月号	第71話	カムオーン！目標10人！	
198	-3月号	第72話	弾けるヴェトナム！	
199	-5月号	第73話	才幼く	
200	-7月号	第74話	日本語のうまい現地人のオジサン!?	
201	-9月号	第75話	紅豆鬆糕が僕を呼んでいる	
202	-11月号	第76話	ハワトラベリングアローン	
203	2013年-1月号	第77話	相模湾波高し	廣山 (44話)
204	-3月号	第78話	飛んでイスタンプール♪	
205	-5月号	第79話	太陽の砂漠	
206	-7月号	第80話	気がつけば80話	
207	-9月号	第81話	旅って楽しい！！	
208	-11月号	第82話	再びのホーチミンでヤギ鍋を喰らう！	
209	2014年-1月号	第83話	ボルトガルー人旅その1『あ、しまった！』	
210	-3月号	第84話	ボルトガルー人旅その2『ドン・ルイスに震え、ワインに酔う』	
211	-5月号	第85話	ボルトガルー人旅その3最終章『ヴァスコ・ダ・ガマに会いに行く！』	
212	-7月号	第86話	『お客さま、このEチケットではご搭乗できません！』	
213	-9月号	第87話	白いシャツとカレーうどん！	
214	-11月号	第88話	『他力本願』	
215	2015年-1月号	第89話	Good Time Charlie	
216	-3月号	第90話	若鷺は舞い降りた！	
217	-5月号	第91話	僕のお気に入り	
218	-7月号	第92話	白うさぎと銀河鉄道に出会う！？	
219	-9月号	第93話	Dreams come true 夢はかなう	
220	-11月号	第94話	The Sound of Silence	
221	2016年-1月号	第95話	ご縁	
222	-3月号	第96話	ブラテラ・ランブラ通り	
223	-5月号	第97話	クジラが跳ねた！！	
224	-7月号	第98話	GALO、ホーチミンで弾ける！？	
225	-9月号	第99話	帰れるかな!?	
226	-11月号	第100話	バルテノン神殿に舞う！	
227	2017年-1月号	第101話	新たなブラテラの始まり！	
228	-3月号	第102話	ピラミッドは荘厳にして、暑く、そして酸欠だった！	
229	-5月号	第103話	2,350kmを駆け抜ける！（前編）	
230	-7月号	第104話	2,350kmを駆け抜ける！（後編）	
231	-9月号	第105話	ビューな人たちとの旅出逢い	
232	-11月号	第106話	スゴイぞ！フィンランド	
233	2018年-1月号	第107話	アントニオは何処だ？	
234	-3月号	第108話	マザーテレサに出会う！	
235	-5月号	第109話	メンソーリーヨー沖縄	
236	-7月号	第110話	ザルムブラウに満たされ、ベルヴェデーレに癒される	
237	-9月号	第111話	続編『いい旅』	
238	-11月号	第112話	『台北に全員集合せよ！』	
239	2019年-1月号	第113話	『あをによし平城京』	
240	-3月号	第114話	『バガンゆらゆら天空散歩』	
241	-5月号	第115話	『777段ポッパ山、古希登り切る(ー-)』	
242	-7月号	第116話	『追っかけ』ではないが・・・	
243	-9月号	第117話	『一人旅 事始め！』	水島 (4話)
244	-11月号	第118話	『猛暑にはコレとコレだ！』	
245	2020年-1月号	第119話	乳頭、玉川、そして不老不死	
246	-3月号	第120話(最終話)	人生初！二重橋を渡る	

筆者からの「ご挨拶」



20年間のコーヒブレイクを卒業します！

(株)エイム・コンサルツ
代表取締役 寺岡 晟

すべての物事にはスタートがあり、エンドがあります。

振り返ると、コーヒブレイクの第1話がスタートしたのが、ジャスト2000年、平成12年でした。当時、僕は50歳になったばかりの青年（笑）でした。

現在も営んでいるエイム・コンサルツを起業して5年目のことです。社員研修の仕事をさせて頂いていた建荷協会企業局の研修事務局だった桶下田氏（感謝を込めて取って実名とさせていただきます）より、「先生、この協会誌の『コーヒブレイク』ページの原稿をお書きになりませんか？」とのこと。

僕も軽い気持ちで「いいですよ！」とお応えしたのがきっかけで連載が始まりました。

と、それから20年、120話も続くとは、夢にも思いませんでした。

この20年は永いようで短いものでした。

連載を初めて間もなく2年目に入った5月に胃潰瘍で倒れ、1か月以上の入院生活をする事になり、初めて休載してしまいました。

当時の建荷協の広報担当の本田氏にはご迷惑をおかけしました。

しかし、その病がきっかけで断煙することができ、健康にも気を配るようになり、そのおかげで古希を迎えても健康に過ごせて

ています。

あのとき病に伏せたことが後の健康につながったと思い、逆にラッキーだったと考えます。

さて、このコーヒブレイクの完結に当たって総括すると、私にとってライフワークのひとつであったと思います。

ライフワークとは、ひとつに自分の個性を表現していること。

もうひとつは、自分自身が楽しんだり、充実感、やりがいを感じたりすること、とされています。

というのは、第10話を超える頃から、コーヒブレイクの原稿を執筆することが楽しくなってきたのです。また、日々のいろいろな出来事、体験、また出張や旅先でさまざまな人に出会ったり、驚いたり、あるいは嬉しかったりすると、これはコーヒブレイクに執筆しようかな、という思考が日常化したことです。

改めて、119話のバックナンバーを振り返ると、さまざまなことが目に浮かんできます。

2004年1月第23話の「ひと目ネッシーに会いたい」で、遠くスコットランドのネス湖で当時大学生の息子と1日中、ひたすら湖畔をウォッチングしながらネッシーを探し求めたこと。

また同年5月の第25話「アンコールワッ

トの風にうつらうつら」では、当時誰もいない最上階の回廊で、心地よい風に睡魔に誘われ、ぐっすり寝てしまったこと。

そして2006年5月第37話「あ、Voluurだ!」ではパリの地下鉄オペラ座駅のエスカレーターでスリに遭遇し、そのスリを追いかけて構内を走り回ったこと（結局、空の財布とカードだけは取り戻しました）。

2011年7月、第68話「日本加油」では、東日本大震災直後に台湾に出張した際、街頭で台湾の多くの方々の日本支援の募金活動を目の当たりにして、涙がとまらなかったこと。

まだあります。2014年1月の第83話「ポルトガル一人旅『あ、しまった!』」では、ポルトガル一人旅を満喫して意気揚々と税関ゲートを通しようとした際、手荷物検査で機内持ち込みバッグにポルトガルで買い求めたワインが3本入っていて、当然のことながら持ち込みを止められたこと（旅慣れたつもりが、キャリーバッグに納めると割れるかもしれないと深く考えもしないで、手荷物で持って帰ろうと、安直に考えたボカミスだった）。そのとき税関職員に「どうすればいいのか?」とすがる思いで問いかけたら、返答がよかった。

「3つの方法がある。1つはここで前が飲んでしまうこと、2つ目はあきらめて放棄して僕らにプレゼントすること、そして3つ目は、預けたキャリーバッグを取り戻して、詰め直すことだ」。そのとき、3つ目の方法を選んだ僕がワインを取り戻して再び税関に戻るまでの騒動記だ。

振り返って見直すと、どうも失敗記が多いことを改めて思った次第である。

おっちょこちょいの性格は古希を迎えても治っていないことを再確認することになった。

でも失敗ばかりではない。

全120話（第120話は今号だが）の中で、もっとも美味しいものとの出会いは2008年9月の第51話「台湾夏味紀行」での『マンゴーかき氷』だ。

台北の油化街近くの泳讃店が何といてもナンバーワン、とろけるマンゴーと練乳は凍らしたかき氷との相性が抜群である。

暑い台湾の気候にマッチしたマンゴーかき氷が邦貨280円だから堪えられない。

この店、泳讃店にはかれこれ10回以上は足を運んでいる。

もちろん、今夏も足を運ぶつもりであることは言うまでもないが。

ほんとうにたくさんの思い出が詰まった20年間の「コーヒープレイク」でした。

この間、2001年の病での休載以外、元気に執筆を続けられたことが最大の喜びです。

ともにネッシーを探した息子も結婚し、2008年7月第50話「娘と私」で出張先の僕へ「お父さんに会って欲しい人がいるの」とショッキングな突然の電話で僕を動転させた娘も3人の子持ちとなり、そして、いつも奔放な僕を支えてくれる妻も元気に年金受給者になりました。

最後にコーヒープレイクの扉を開いてくれた桶下田氏、これまでコーヒープレイクをサポートしていただいた建荷協歴代の編集担当の本田氏、川村氏、及川氏、廣山氏、そして現在の水島氏に改めて感謝です。

そして、コーヒープレイクをお読みいただいた読者の皆さまに感謝、感謝です。

この第120話は、僕の「コーヒープレイク」ライフワーク完結であり、僕の新しいライフワークのスタートになります。

ほんとうにありがとうございました。

2020年3月吉日

感謝を込めて 寺岡 晟

Topics

平成30年度 考案賞受賞企業を訪ねて 第3回 銀賞受賞 「トラックローラー交換用治具」

考案者：三重県支部 株式会社アクティオ 三重いなベテクノパーク統括工場
福田 正樹・山田 孝治

平成30年考案賞入賞作品中、金賞、銀賞を受賞された作品を、考案者の方に直接お話を伺い、考案に至った理由やご苦労等のもよま話をシリーズで紹介しています。

第3回目は、銀賞を受賞された(株)アクティオ 三重いなベテクノパーク統括工場様です。

なお、受賞作品の詳細内容は、機関誌第242号（2019年7月号）80頁をご覧ください。

1. 会社概要

(株)アクティオは建設機械レンタルのリーディングカンパニーとして、単に機械をレンタルするだけでなく、コンサルティングの考えを取り入れた「レンサルティング」を実践してきました。数多くの拠点と豊富な商品数、提案力を強みに、レンタルの枠組みを超える価値を、迅速に、確実に届けています。

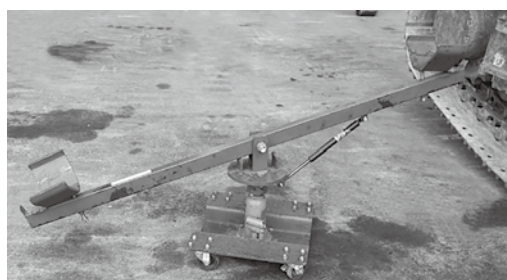
三重いなベテクノパーク統括工場は、全国137の工場・センターの中で最大敷地面積を誇り、取り扱うほぼすべての機械整備を担う東海エリアと西日本の物流の拠点です。

また愛知・岐阜・三重の東海3県において中心的な立場であることから、災害に強い拠点として優れたBCP機能をもっています。

2. 受賞作品

- ・「トラックローラー交換用治具」

油圧ショベル等大型重機のトラックローラー交換時、重量物の部品を効率的、安全に取外し・取付けできる治具。



考案した治具

3. 考案者の横顔

今回当治具の考案に関わったのは、発案し、試作を行った福田さんとその試作品を図面化し、社内展開できるように仕上げた山田さんのお二人です。

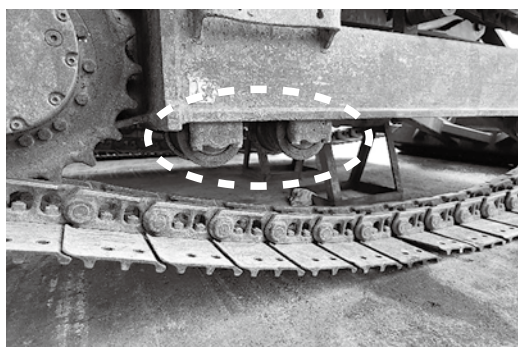
福田さんは、現在四国支店に所属しており、主にレンタル品の品質管理や重機等の整備業務に携わっています。また山田さんは当統括工場で生産管理課に所属しています。



考案者の福田様(右)と山田様(左)、中央は長尾工場長

4. 考案に至った理由

重機関係の業務に数多く携わってきた福田さんは、大型重機のトラックローラーの交換作業について、その危険性や作業の難易度も理解しており、より安全で効率的な方法がないか、作業のたびに考えていました。



重機のトラックローラー部

このような中、社内の業務改善活動に参加することになった福田さんは、活動テーマが重機班の生産性向上となったため、今まで考えてきたトラックローラー交換作業の改善活動を本格的にスタートさせました。

当時、この交換作業は、

- 作業スペース等の関係で一人作業になることが多い。
- 取外し時は中腰で、約20kgのトラックローラーを片手で保持しながらの不安定な作業となる。
- 取付け時も同様に、なおかつ固定ボルトを手探りで取り付ける。

等、肉体的な苦痛と手を挟まれるなどの可能性があります。

また、交換に要する作業時間は、ローラー1個あたり20分（ローラー片側5個では100分）も費やしていました（0.4m³クラスの重機の場合）。



従来（治具考案前）の作業状況

5. 考案に際して特に考慮した点

改善活動を開始した福田さんは、以下の方針で治具の試作に取り掛かりました。

- 誰でも簡単に取り扱える（誰でも一度は見たことがある形や動きにする）。
- 交換作業の際に組替えや差替えがない。

ただし、治具にシンプルさと安全性を同居させることに大変ご苦労をなさったそうです。

解決のヒントになったのは、公園で見た遊具（シーソー）で、シーソーの仕組みに着眼し、同じ部品を同じ場所に取付ける…同じ重さの部品を天秤方式で安定させ、入替える（回転させる）…方式を思いついたそうです。

ここから、工場内の廃材を活用し、初回試作機を制作し始め、形になるまでは、わずか1週間だったそうです。



治具考案後の作業状況

また、この治具を使用し、交換作業を行ったところ、効果が確認できたため、標準化を行いました。

中心となったのが山田さんです。部品の再選定や部材の強度確認を行い、図面を作成して、社内への水平展開を進めました。

ご苦勞の甲斐があり現在まで4台を制作、今後はさらに展開すべく準備を行っているとのことでした。

6. 考案した治具の効果

0.4m³重機のトラックローラー1個あたりの交換時間が、

- ・ 従来（治具制作前）：20分
- ・ 治具制作後：9分

となり、11分の削減（55%減）となりました（トラックローラー片側5個での交換では、100分が45分となり、55分も短縮）。

また交換時間の短縮以上に、安全面で寄与も大きく、重量物を保持しての苦渋作業や手の挟まれなどの危険作業もなくなり、作業員にも大好評とのことでした。

7. 取材を終えて

試作を行った福田さんから、図面化・標準化を行った山田さんへとバトンタッチを行い、見事に成功を収めた好例だと思います。

第二、第三の改善活動を期待しております。

番外ですが、当統括工場では、機関誌242号に掲載された今年度の他社の考案賞受賞作品を参考に、同様な治具を制作し、活用しているとのことでした。

広報した事務局として、非常に嬉しく思います。

[広報部：水島 記]

受賞者様より



(株)アクティオ 四国支店
仲南工場

工場長 **福田 正樹 様**

今回、表彰いただきましたこと、とても名誉あることと感謝しています。私たちの治具がこのような形で展開できたのは、社内の改善活動等に取組む仲間たちの努力のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。



(株)アクティオ 三重いなベテクノパーク
統括工場 生産管理課

業務主事 **山田 孝治 様**

今回、このような賞を戴き大変うれしく思います。

作製しました治具により、自部署での作業効率が大幅にアップしたことと、安全性も高まったことが本当に良かったので、今後も現場の為になるような改善や治具作製を続けていきたいと思っています。

Topics

フォークリフトの安全性向上に向けた 製品開発の取り組み

令和元年10月23日から京都市・みやこめっせで開催された中災防主催の第78回（令和元年度）全国産業安全衛生大会のポスターセッション編で43点が展示されていましたが、その中で当協会会員さんに関連した事例研究が発表されていたので、紹介させていただきます。この事例は、三菱ロジスネクスト様様の「フォークリフトの安全性向上に向けた製品開発の取り組み」で、フォークリフトに起因する事故を防止するため新しい商品（技術）開発に取り組まれた事例です。

フォークリフトが原因となって発生した事故は年間2,000件に達しており、死亡事故も30件に及ぶ。こうした状況を踏まえ当社でも安全性向上、安全作業の普及啓発を目的とした商品開発に取り組んでおり、そのうち下記3事例を紹介する。

1. 全周囲モニタリングシステム

本システムは、図1に示すように車両の前後・左右に4台のカメラを配置しており、以下の特徴を備えたシステムで、図2のような死角の多い、中・大型フォークリフト等に搭載することで、オペレーターの安全確保および荷役作業性の向上に大きく寄与している。

1) 俯瞰映像により死角が大幅に減少

車両に搭載した複数台のカメラ画像を合成することにより、上空から見下ろしたような俯瞰映像を表示し、中・大型車で死角となる車両近傍の状況を、一目で把握することができる。

2) カメラのつなぎ目の死角ゼロ

複数台のカメラを用いる場合、それぞれの画像のつなぎ目で、人や障害物

が見えなくなる死角が発生する場合がある。旋回が多いフォークリフトにおいては、この死角は安全上特に改善が必要なため、オーバーラップ領域を設け画像処理により、この死角をなくしている。

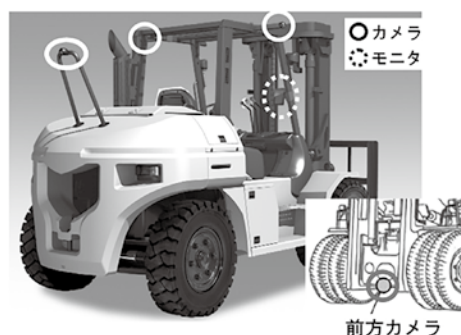


図1 カメラ配置図



図2 中・大型フォークリフトの死角

2. 走行時振動低減システム

フォークリフトには衝撃を吸収するサスペンションがないため、図3のような路面

段差からの振動が荷崩れやオペレーターの疲労の原因になると考えられている。本システムは、フォークリフト走行時の路面段差等により発生した荷物と車両の振動を、**図4**に示すような荷役装置用油圧回路内に設置したアキュムレータで衝撃吸収することにより低減するシステムであり、振動低減による走行時の荷崩れ事故抑制の他、オペレーターの疲労低減にもつながる。

なお、フォークリフトの場合、無負荷から全積載まで荷重範囲が広く、その油圧範囲をカバーするために、特性の異なる2種類のアキュムレータを用いて対応している。これにより、無負荷の走行中の揺れや、荷役装置の衝撃を低減し、特に精密機器等の壊れ物の運搬に最適といえる。

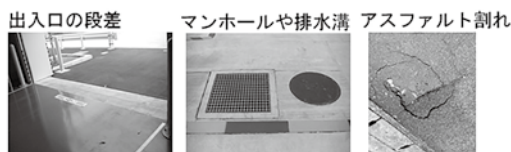


図3 路面段差例

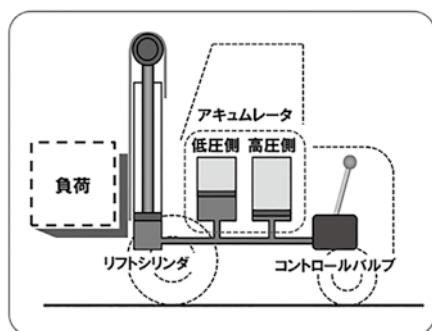


図4 システムの概要

3. フォークリフト稼働管理システム

本システムは以下のように、クラウドに蓄積されたフォークリフトの稼働データを収集、分析し、フォークリフト別、運転者別の稼働状況や危険操作状況の把握、日報月報

の作成等がPC上で可能なシステムである。

- 1) フォークリフトの稼働状況を把握、分析することにより、より効率的な運用ができ、無駄なエネルギー消費を抑制できる。
- 2) オペレーターの危険運転（急発進、急減速、急旋回）を検知し、その際ドライブレコーダーにより記録された動画情報もクラウドに蓄積することで、危険運転の状況監視が容易に可能である。
- 3) WEB画面で複数台のフォークリフトの稼働状況を把握することにより、拠点ごとの車両台数等の最適化を効率的に図ることができ、運用効率を高められる（**図5**、**6**参照）。

このシステムにより、危険作業頻発エリアの特定、オペレーターごとの運転技術の把握により安全啓発につなげることができる。

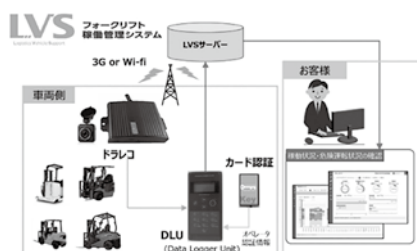


図5 システム構成

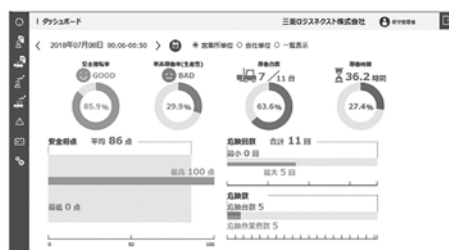


図6 システムのWEB画面

■発表者紹介

矢継 好隆（やつぎ よしたか）
三菱ロジスネクスト(株)
技術本部 コンポーネント・先行技術部
部長

建 荷 協 の 動 き

(令和元年12月1日～令和2年1月31日)

運営幹事会

第23回運営幹事会

月 日：令和2年1月17日（金）

場 所：ホテルグランドパレス3階
牡丹・菖蒲の間

出 席：酒井会長、小澤常務理事、
川島運営幹事長以下運営幹
事13名

議 事：

1. 現況報告について
2. 令和2年度の事業計画（素案）
について
3. 令和2年度の行事予定（案）
について
4. その他

常設委員会

令和元年度 第3回特自検委員会

月 日：令和元年12月4日（水）

場 所：建荷協本部会議室

議 事：

1. 平成30年度検査業者特自検実
施状況
2. 令和2年度事業計画（素案）
について
3. 協会会員様へのアンケート結
果報告
4. 電子記録表アプリケーション
開発状況
5. その他

令和元年度 第3回研修委員会

月 日：令和元年12月12日（木）

場 所：建荷協本部会議室

議 事：

1. 令和元年度の研修・教育実績
について
2. 本部研修について
 - ・「新任講師研修」について
 - ・「ベテラン研修講師及び研修管
理者の交流・研修会」について
 - ・各社の最新情報について
3. 令和2年度事業計画
4. 委員会日程

令和元年度 第4回広報委員会

月 日：令和元年12月6日（金）

場 所：建荷協本部会議室

議 事：

1. 前回議事録の確認（2019.9.13
開催2019年度第3回分）
2. 機関誌中期編集計画の検討
（245号2020年1月号～247号
3月号）
3. 製品紹介（245号掲載分、他
在庫）
4. イラスト災害事例の検討（245
号掲載案確認）
5. 令和2年版年間ポスター制作・
配付（最終報告）
6. 令和2年版年間リーフレット
およびイラスト版ポスター制
作・配付（最終報告）
7. 機関誌の配付先拡大と今後の
掲載記事コンテンツについて
（中間報告）
8. 平成30年発生分荷役車両の労
働災害による死亡災害の推移
と発生状況

9. 令和2年度広報関係事業計画（素案）
10. 令和2年度現場取材見学会について
11. 令和元年度・2年度広報委員会開催スケジュール
12. 令和元年度広報委員会名簿
13. その他
3. 製品紹介（246号掲載分，他在庫）
4. イラスト災害事例の検討（246号掲載用初回案）
5. 機関誌（247～252号）掲載用イラスト災害事例の選考（投票）
6. 機関誌の配付先拡大について（中間報告）
7. 令和2年度広報関係事業計画
8. 令和2年度現場取材見学会について
9. 令和元年度・2年度広報委員会開催スケジュール
10. 令和元年度広報委員会名簿
11. その他（広報委員会委員の改選について、安全／教育研修施設の紹介（お願い））

令和元年度 第5回広報委員会

月 日：令和2年1月10日（金）

場 所：建荷協本部会議室

議 事：

1. 前回議事録の確認（2019.12.6開催2019年度第4回分）
2. 機関誌中期編集計画の検討（246号3月号～248号7月号）

会員入会状況

令和元年12月1日から令和2年1月31日までの会員の入会状況は次のとおりである。

種別	対象業種別	会 員 数（社）			
		令和元年 11月末 会員数	令和元年12月1日～ 令和2年1月31日間異動		令和2年 1月末 会員数
			入 会	退 会	
正会員	製造業	26			26
	建設業	290	1		291
	荷役業	87	1		88
	製造工業等	44			44
	リース・レンタル	657	4	1	660
	検査・整備業	2,910	3	7	2,906
	その他業種	182	1		183
賛助会員		15			15
総	数	4,211	10	8	4,213

新入会員名簿

会員番号	名 称	〒	所在地	電話番号
30879	Takamitu(株)	014-0207	秋田県大仙市長野字新山92番地1	0187-56-3626
40271	川崎運送(株)	210-0021	神奈川県川崎市川崎区元木1-5-11	044-244-1151
60254	上武建設(株)	575-0013	大阪府四條畷市田原台7-1-1	0743-72-0321
61252	ナカウ(株)水島営業所	712-8043	岡山県倉敷市広江1-2756-1	086-455-6200
61253	(株)中日通商	486-0952	愛知県春日井市追進町3-58	0568-37-3648
61255	(株)秋田	567-0837	大阪府茨木市南目垣1-10-2	072-633-4822
76236	北関東重機(株)	370-1101	群馬県佐波郡玉村町藤川147-1	0270-50-3515
76237	(株)くみき	901-1302	沖縄県島尻郡与那原町上与那原439	098-945-3511
76238	石山自動車(株)	955-0091	新潟県三条市上須頃399	0256-32-5583
80366	(株)琉球鉦山開発	905-0225	沖縄県国頭郡本部町字崎本部3120	0980-47-6610

令和 2 年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表

令和 2 年度における当協会の支部が行う研修・教育の実施予定は別表 1・2 及び 3 のとおりです。

受講される場合は、毎号の機関誌（又は当協会のホームページ）を参考に、支部で実施予定を確認の上、お申込みください。なお、当協会の会員以外の事業所の方も受講できます。

事業所は、退職、異動等で検査者の不足が生じないよう資格取得研修の受講を計画してください。

1. 特定自主検査資格取得研修

(別表 1)

厚生労働省の告示及び通達に基づく、事業内検査者及び検査業者検査員の資格取得のための研修です。

2. 特定自主検査者能力向上教育

(別表 2)

厚生労働省の通達に基づき、「フォークリフト」「整地・運搬・積み込み用、掘削用及び解体用機械」「締固め用機械」「基礎工事用機械」「コンクリート打設用機械」並びに「高所作業車」の特定自主検査者の業務に従事しておおむね5年以上経過した方を対象に、技術、知識を付与することを目的とした教育です。

3. 実務研修及び安全教育

(別表 3)

・実務研修「記録表作成コース」

他の法令で資格を取得された方（建設機械施工士他）や記録表の記入要領について再び学びたい方などを対象に、特定自主検査の法令上の位置付け、検査方法、及び具体的な記録表の書き方などについて学ぶことができます。

なお、このコースには座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「月次定期自主検査（フォークリフト）コース」

定期自主検査の中でも月次検査については、特定自主検査の検査員資格がなくても検査を行うことができます。日頃フォークリフトの整備や運転業務に従事されている方を対象に検査方法や記録表の記入要領について学ぶことができます。

なお、このコースも座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

【新設】

・実務研修「月次定期自主検査（車両系建機）コース」

上記フォークリフトに引き続き車両系（整地・運搬等）の月次検査についても検査方法や記録表の記入要領について学ぶことができます。

なお、このコースも座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「検査業者業務点検コース」

登録検査業者として、正しい管理運営の在り方について点検表に基づいて、内容を理解しながら研修をします。

・安全教育

厚生労働省の通達に基づき定期自主検査対象であるクレーン機能付油圧ショベルのクレーン部分（「建機付属クレーン部分」という。）並びにショベルローダー等の定期自主検査者を対象とした安全教育です。

※ なお、能力向上教育及び実務研修につきましては、昨年と同様にキャンペーン価格となっておりますので、この機会に受講をお待ちしております。

令和 2 年度 特定自主検査資格取得研修（事業内） 予定表（別表 1）

（令和 2 年 2 月 1 日現在）

地区	支部	フォークリフト			車両系建設機械		
					整地・運搬・積込・掘削・解体用機械		
北海道・東北地区	北海道				7/15～17 EF		
	青森						
	岩手						
	宮城						
	秋田	10/16～17 EF			9/11～12 EF		
	山形						
関東地区	福島				6/26～27 EF		
	茨城	4/16～17 EF			5/11～12 EF		
	栃木	4/4～5 EF			10/22～23 EF		
	群馬	10/16～17 EF					
	埼玉	8/26～28 EF			2/3～5 EF		
	千葉	4/9～11 EF	9/17～19 EF		7/8～10 EF		
	東京	7/16～18 EF	10/15～17 EF				
中部地区	神奈川	7/9～11 EF	11/12～14 EF		7/28～30 EF		
	新潟						
	富山						
	石川						
	福井						
	山梨						
	長野	11/4～6 EF					
	岐阜						
	静岡	6/18～19 EF	7/10～11 EF		4/16～17 EF	5/8～9 EF	
近畿地区	愛知	3/11～13 EF			3/2～4 EF		
	三重	10/23～25 EF			9/25～27 EF		
	滋賀						
	京都						
	大阪	2/16～21 EF					
	兵庫						
中国地区	奈良						
	和歌山						
	鳥取	9/16～18 EF					
	島根						
四国地区	岡山	8/3～4 EF	1/25～26 EF		6/1～2 EF		
	広島	9/25～26 EF			10/8～9 EF		
	山口	4/17～18 EF			8/21～22 EF		
	徳島						
九州・沖縄地区	香川						
	愛媛	9/11～12 EFG			7/17～18 EF		
	高知	7/31～8/1 EF					
	福岡	9/10～12 EFG			7/9～10 EF		
	佐賀	10/7～8 EF			6/3～4 EF		
	長崎						
	熊本	10/3～4 EF					
	大分						
	宮崎						
	鹿児島						
	沖縄						

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Eは14時間、Fは9.5時間、Gは5.5時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和 2 年度 特定自主検査資格取得研修（事業内） 予定表（別表 1）

（令和 2 年 2 月 1 日現在）

地区	支部	車両系建設機械			高所作業車	
		基礎工事用	締固め用	コンクリート打設用		
北海道・東北地区	北海道					
	青森					
	岩手					
	宮城					
	秋田					
	山形					
関東地区	福島					
	茨城		6 / 4 ～ 5 EF		9 / 17 ～ 18 EF	
	栃木				12 / 10 ～ 11 EF	
	群馬				9 / 16 ～ 17 EF	
	埼玉		6 / 16 ～ 18 EF		3 / 15 ～ 17 EF	
	千葉				7 / 28 ～ 30 EF	
	東京				6 / 18 ～ 20 EF	9 / 10 ～ 12 EF
中部地区	神奈川		7 / 1 ～ 3 EF		3 / 4 ～ 6 EF	
	新潟					
	富山					
	石川					
	福井					
	山梨					
	長野					
	岐阜					
	静岡				10 / 2 ～ 3 EF	1 / 20 ～ 21 EF
	愛知					
近畿地区	三重				11 / 20 ～ 22 EF	
	滋賀					
	京都					
	大阪					
	兵庫					
	奈良					
中国地区	和歌山					
	鳥取					
	島根					
	岡山					
	広島					
四国地区	山口		5 / 14 ～ 16 F		9 / 10 ～ 12 F	
	徳島					
	香川					
	愛媛				5 / 22 ～ 23 EF	
九州・沖縄地区	高知					
	福岡				11 / 13 ～ 15 EF	
	佐賀		7 / 2 ～ 3 EF			
	長崎					
	熊本					
	大分					
	宮崎					
	鹿児島					
	沖縄					

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Eは14時間、Fは9.5時間、Gは5.5時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和2年度 特定自主検査資格取得研修（検査業）予定表（別表1）

（令和2年2月1日現在）

地区	支部	フォークリフト				車両系建設機械	
						整地・運搬・積込・掘削・解体用機械	
北海道・東北地区	北海道	5/27～29 BCD	7/1～3 BCD			6/17～19 BC	9/7～11 ABC
	青森	7月中旬 BCD				9月中旬 BC	
	岩手	6/17～19 BC				9/1～10 ABC	
	宮城	6/11～13 BC				9/16～9/20 ABC	
	秋田	7/16～18 BC				6/25～27 BC	
	山形	10/21～23 BCD				6/16～18 BC	
	福島	7/15～17 BC					
関東地区	茨城	6/17～19 BCD	10/26～28 BCD			7/6～10 ABC	
	栃木	7/3～5 BC				8/3～7 ABC	
	群馬	7/9～11 BCD				9/4～6 BC	
	埼玉	7/13～17 ABCD	3/8～12 ABCD			12/7～11 ABC	
	千葉	6/18～20 BC	12/17～19 BC			10/28～30 BC	
	東京	6/10～14 ABC					
	神奈川	6/18～20 BC	10/22～24 BC			8/18～20 BC	
中部地区	新潟	6/17～21 ABCD	7/16～18 BCD			7/2～4 BC	
	富山	9/9～11 BC					
	石川	6/4～6 BC					
	福井	6/18～21 BC				5/21～5/23 BC	
	山梨						
	長野	7/8～10 BC				9/9～11 BC	
	岐阜	9/23～25 BC				6/16～18 BC	
	静岡	6/9～13 ABC	9/9～11 BC	2/2～10 BCD		5/12～16 ABC	12/8～10 BC
	愛知	6/19～21 ABC	9/17～21 ABC	10/8～10 B		9/28～30 BC	
近畿地区	三重	9/4～6 BC				5/22～24 BC	
	滋賀	2/17～19 BCD					
	京都	9/17～19 BC					
	大阪	7/6～12 ABCD	10/20～25 BC			6/9～13 BC	
	兵庫	7/2～5 BCD				7/16～18 BC	
	奈良	10/8～11 BC					
	和歌山						
中国地区	鳥取	9/16～18 BC					
	島根	7/8～10 BC					
	岡山	6/29～7/3 ABC	3/15～17 BC			10/26～30 ABC	
	広島	11/11～15 ABC				10/12～16 ABC	
	山口	7/9～11 BC				6/18～20 BC	
四国地区	徳島	9/10～12 BC					
	香川						
	愛媛	6/25～27 BCD	1/14～16 BCD				
	高知						
九州・沖縄地区	福岡	6/10～14 ABC	1/14～16 BCD			2/17～19 BC	
	佐賀	2/2～4 BC					
	長崎	10/7～11 ABC					
	熊本	7/17～26 ABCD				2/5～14 ABC	
	大分	6/24～28 ABC				8/26～8/30 ABC	
	宮崎	7/15～19 ABC				9/9～13 ABC	
	鹿児島	7/8～12 ABC				10/21～25 ABC	
	沖縄	6/3～7 ABC				6/24～28 ABC	

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Aは35時間、Bは21時間、Cは18時間、Dは13時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和 2 年度 特定自主検査資格取得研修（検査業）予定表（別表 1）

（令和 2 年 2 月 1 日現在）

地区	支部	車両系建設機械			高所作業車		
		基礎工事用	締固め用	コンクリート打設用			
北海道・東北地区	北海道	8/19～21 BC			6/3～5 BC	9/2～4 BC	
	青森				7月上旬 BC		
	岩手		7/1～3 BC		10/6～8 BC		
	宮城				7/13～15 BC		
	秋田		10/8～10 BC		9/16～18 BC		
	山形				4/21～23 BC		
	福島				9/10～12 BC		
関東地区	茨城		7/20～22 BC		10/12～14 BC		
	栃木		10/29～31 BC	7/19～21 BC	8/26～28 BC		
	群馬				6/16～18 BC		
	埼玉	10/19～23 ABC	6/15～19 ABC		2/15～19 ABC		
	千葉				10/6～8 BC		
	東京				11/5～7 BC		
	神奈川		5/27～29 BC		1/14～16 BC		
中部地区	新潟				6/11～13 BC		
	富山				7/9～11 BC		
	石川				7/3～5 BC		
	福井				9/10～9/12 BC		
	山梨						
	長野				6/16～18 BC		
	岐阜				6/2～4 BC		
	静岡		7/28～30 BC		9/17～19 BC	12/2～4 BC	
	愛知		7/28～30 BC		6/26～28 BC	11/6～8 BC	
近畿地区	三重				6/19～21 BC		
	滋賀						
	京都				7/2～4 BC		
	大阪				8/31～9/4 ABC		
	兵庫			6/24～26 BC	3/10～12 BC		
	奈良						
中国地区	和歌山	6/25～27 BC					
	鳥取						
	島根						
	岡山		11/30～12/2 BC		7/13～15 BC	2/15～19 ABC	
	広島				9/3～5 BC		
四国地区	山口		5/14～16 BC		9/10～12 BC		
	徳島						
	香川						
	愛媛				10/15～17 BC		
九州・沖縄地区	高知						
	福岡				10/21～25 ABC		
	佐賀				8/4～6 BC		
	長崎						
	熊本						
	大分		9/25～27 BC		10/16～18 BC		
	宮崎		8/5～9 ABC		10/15～17 BC		
	鹿児島				5/27～31 ABC		
沖縄地区	沖縄		12/2～6 ABC		10/21～25 ABC		

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Aは35時間、Bは21時間、Cは18時間、Dは13時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和２年度 特定自主検査能力向上教育予定表（別表２）

（令和２年２月１日現在）

地区	支部	フォークリフト				車両系建設機械										高所作業車	
						整地・運搬・積込、掘削及び解体用				基礎工事用		締固め用		コンクリート打設用			
北海道・東北地区	北海道	6/10				6/9											
	青森	5月中旬				5月中旬											
	岩手	6/24				9/24											
	宮城	10/15				4/24										8/21	
	秋田	6/8				6/15					6/29					6/22	
	山形	11/6				5/22										6/24	
	福島	6/17	10/21			8/5	10/20					10/13				7/3	
関東地区	茨城	4/23	12/8			5/21	2/8					6/3				9/16	
	栃木	6/4				4/16								6/14		12/9	
	群馬	10/12				4/23	10/13									9/25	
	埼玉	6/10	10/14			9/2				10/28		3/2				5/13	
	千葉	6/10				6/25											
	東京	9/2														10/21	
	神奈川	12/11				10/15						7/17					
中部地区	新潟	8/26				9/2										9/16	
	富山	7/21				7/17										9/17	
	石川	7/15				6/17											
	福井	6/9				5/12										8/25	
	山梨	7月下				6月下											
	長野	8/28				9/17										7/28	
	岐阜	2/9				7/15											
	静岡	12/22	2/6			8/6	9/26					5/21	6/6			6/24	7/4
	愛知	7/16				7/7						7/14				7/2	
近畿地区	三重	9/2				6/3										7/1	
	滋賀					7/28											
	京都	11/19				9/15											
	大阪	1/13															
	兵庫	6/19	10/23			6/18	9/11							11/20	2/26		
中国地区	奈良																
	和歌山																
	鳥取	9/4				11/20											
	島根					8/6											
	岡山	10/9	10/19			9/14	11/9	11/20									
四国地区	広島	6/9	6/16	6/23		7/7	7/14	7/21								7/2	7/16
	山口	11/14										10/24					
	徳島																
	香川					8/8											
	愛媛	8/8				8/29											
九州・沖縄地区	高知					9/11											
	福岡	8/6				2/5											
	佐賀	11/26				11/26					9/16					9/16	
	長崎	6/4	9/9	2/10		6/5	8/19	3/10									
	熊本	9/5				1/16											
	大分	11/14				10/24											
	宮崎	7/11				6/13	7/4									1/9	
鹿児島	9/5				8/22												
沖縄	1/15				12/11											8/21	

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した教育を示します。

令和 2 年度 実務研修、定期自主検査安全教育予定表 (別表 3)

(令和 2 年 2 月 1 日現在)

地区	支部	実務研修										安全教育			
		記録表作成コース					月次定期自主検査 (フォークリフト)		月次定期自主検査 (整地等)		業務点検 コース	建機付属 クレーン部 分		ショベル ローダー等	
		座学		実技			座学	実技	座学	実技					
北海道・東北地区	北海道	8 / 4	10 / 13										7 / 7	8 / 3	6 / 24
	青森	6月中旬	6月中旬									6月中旬			
	岩手	10 / 21		7 / 21	8 / 27						6 / 10	11 / 4			
	宮城	9 / 10	11 / 20									11 / 27			
	秋田	7 / 15	8 / 24								10 / 21	5 / 11		7 / 21	
	山形	8 / 20						9 / 18			9 / 9	7 / 14		5 / 18	
	福島	6 / 10										8 / 20			
関東地区	茨城			8 / 25	1 / 19						10 / 30	5 / 26		1 / 12	
	栃木	11 / 26										9 / 4		10 / 22	
	群馬	6 / 4									10 / 22	11 / 13			
	埼玉	11 / 11					12 / 16				7 / 1	7 / 8			
	千葉	1 / 28									11 / 6	8 / 6	12 / 3		
	東京														
	神奈川	8 / 3	9 / 4	11 / 27			9 / 18				11 / 20	10 / 16			
中部地区	新潟	10 / 21									10 / 7	8 / 5			
	富山											6 / 3		7 / 2	
	石川			8 / 6	8 / 26							9 / 24			
	福井	7 / 8					10 / 8					2 / 18			
	山梨			9 月下								11 月下			
	長野	7 / 17									10 / 16			6 / 9	
	岐阜			5 / 20	11 / 11						10 / 14	7 / 10		7 / 7	
	静岡	8 / 5	9 / 5	10 / 7							11 / 12	6 / 4	1 / 23	2 / 11	
	愛知	11 / 7	12 / 16	1 / 16											
近畿地区	三重	8 / 5		8 / 3							11 / 26	9 / 8		8 / 26	
	滋賀	5 / 27	6 / 24	9 / 9			8 / 29		8 / 5		1 / 27	6 / 6			
	京都											10 / 16			
	大阪	11 / 14	2 / 4							11 / 25					
	兵庫	2 / 18	3 / 5				2 / 19		4 / 24		8 / 7	5 / 15		1 / 29	
	奈良	11 / 25													
中国地区	和歌山	9 / 26	11 / 28												
	鳥取	8 / 7													
	島根	11 / 25										6 / 23			
	岡山			7 / 6								8 / 31		9 / 30	
	広島			7 / 9	2 / 4						8 / 20			6 / 5	
四国地区	山口	12 / 12													
	徳島	6 / 10	6 月上									6 月上			
	香川	10 / 17									6 / 27				
	愛媛	4 / 18		11 / 28							7 / 21	4 / 11		1 / 23	
	高知	10 / 8										6 / 10			
九州・沖縄地区	福岡			9 / 17							3 / 9	8 / 21			
	佐賀	8 / 20					9 / 3		9 / 3			6 / 11			
	長崎			6 / 21	8 / 5	11 / 20		7 / 8		7 / 8					
	熊本			1 / 28				12 / 2		12 / 2					
	大分	7 / 4	12 / 19				7 / 18		9 / 5		8 / 22	11 / 28			
	宮崎	7 / 4										6 / 6			
	鹿児島	6 / 6	1 / 6	5 / 16					5 / 9		8 / 3	4 / 18			
	鹿児島	12 / 5					6 / 20		11 / 14			8 / 8			
	沖縄	9 / 11					5 / 15		7 / 16	7 / 17		8 / 7			
									11 / 27						

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した研修・教育を示します。

令和2年度 運転技能講習予定表

(令和2年2月1日現在)

●フォークリフト												
秋田		5/14～	6/12～	7/3～			10/15～					
				7/14～								
茨城	4/8～	5/12～	6/10～	7/9～	8/18～	9/11～	10/12～	11/13～	12/10～	1/14～	2/10～	3/9～
石川		5/21～				9/10～						
山梨		5月		7月		9月		11月				
京都			6/15～									
大阪		5/13～	6/17～			9/16～	10/7～			1/27～		3/3～
兵庫	4/3～											
長崎		5/14～	6/25～	7/9～		9/10～	10/22～		12/3～	1/14～		3/11～
熊本		5/30～	6/20～			9/18～	10/10～				2/27～	
							10/31～					
宮崎	4/22～	5/20～	6/24～		8/26～		10/21～					

●車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）												
兵庫						9/17～						
鳥取			6/18～				10/15～					
鳥根						9/14～						
長崎					8/6～			11/5～			2/25～	

●車両系建設機械（解体用）												
鳥取		5/15										

●不整地運搬車												
鳥取				7/16～								
鳥根			6/3～									

●高所作業車												
青森	4/10～	5/23～	6/5～	7/10～	8/29～	9/4～	10/24～	11/6～	12/5～			3/13～
			6/27～			9/26～						
群馬		5/23～				9/26～						
福井	4/22～					9/24～						
滋賀	4/8～		6/16～	7/1～		9/8～	10/6～		12/1～			
奈良		5/28～		7/21～		9/24～			12/21～			3/23～
鳥取	4/15～				8/19～							
鳥根						9/3～						
沖縄	4/10～		6/19～	7/10～			10/16～	11/13～			2/19～	

注1 各講習会日程の最初の日を掲載しています。詳細は該当支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した講習を示します。

お知らせ

〔令和2年度〕
各種研修の受講料

1 資格取得研修

(A) 事業内検査者研修

研 修 の 種 類	14時間コース		8.5・9.5時間コース		5.5時間コース	
	会員	一般	会員	一般	会員	一般
1 フォークリフト	47,850	51,920	43,450	47,520	42,350	46,420
2 整地・運搬・積み込み用、掘削用及び解体用機械	56,210	63,580	51,810	59,180	—	—
3 基礎工事用機械	58,190	65,120	53,790	60,720		
4 締固め用機械	49,390	53,790	44,990	49,390		
5 コンクリート打設用機械	63,800	68,970	58,300	63,470		
6 高所作業車	51,810	56,980	47,410	52,580		

(B) 検査業者検査員研修

(単位：円)

35時間コース		21時間コース		18時間コース		13時間コース	
会員	一般	会員	一般	会員	一般	会員	一般
76,450	80,520	54,450	58,520	52,250	56,320	51,150	55,220
89,210	96,580	66,110	73,480	61,710	69,080	—	—
91,190	98,120	66,990	73,920	62,590	69,520		
77,990	82,390	55,990	60,390	53,790	58,190		
113,300	118,470	80,300	85,470	78,100	83,270		
85,910	91,080	62,810	67,980	60,610	65,780		

2 能力向上教育 ―キャンペーン価格―

教 育 の 種 類	会 員	一 般
1 フォークリフト	8,360	10,230
2 整地・運搬・積み込み用、掘削用及び解体用機械	9,130	11,440
3 基礎工事用機械	7,480	8,910
4 締固め用機械	6,490	7,480
5 コンクリート打設用機械	6,270	7,040
6 高所作業車	6,600	7,700

3 実務研修 ―キャンペーン価格―

研 修 の 種 類		座学コース		実技コース	
		会員	一般	会員	一般
記録表作成コース	フォークリフト	8,910	11,110	14,410	16,610
	整地・運搬・積み込み用、掘削用及び解体用機械	9,240	11,550	14,740	17,050
	基礎工事用機械	9,240	11,550	14,740	17,050
	締固め用機械	9,020	11,220	14,520	16,720
	コンクリートポンプ車	9,020	11,220	14,520	16,720
	高所作業車	8,910	11,110	14,410	16,610
月次定期自主検査コース	フォークリフト	5,610	6,160	11,110	11,660
	車両系建機	5,390	5,830	10,890	11,330
検査業者業務点検コース		会 員		一 般	
		6,050		6,930	

4 安全教育

教 育 の 種 類	会 員	一 般
建機付属クレーン部分	7,480	8,030
ショベルローダー等	12,980	15,070

- (注) 1. 受講料には、テキスト代及び消費税10%が含まれています。
 2. 当協会会員所属の受講者の受講料は、協会が教材費の一部を負担した額です。
 3. 本表に含まれるテキスト代以外の教材類を追加する等の際は、本表受講料と異なる場合があります。
 4. 受講料は、研修を実施する建荷協・支部に納金してください。

特定自主検査者資格取得者名簿

(令和元年 12 月 1 日～令和 2 年 1 月 31 日)

資格の種類ごとに氏名五十音順・敬称略

事業内検査者資格取得者

■フォークリフト

有 田 勇 介	植 山 俊 二	嘉 藤 大 介	高 藤 賢	橋 本 政 次	安河内 功
安 戸 康 博	宇 治 良 幸	鹿 野 雅 人	谷 岡 優 輝	平 田 雅 敏	安 元 年 孝
飯 國 真 次	内之倉 拓 也	川 西 義 則	中 島 義 博	廣 田 貴 彦	谷田部 進
石 水 尚 吾	宇都宮 敏	川 村 圭	仲 野 純 一	藤 岡 秀 悟	山 口 浩 通
伊 藤 健太郎	梅 木 司	北 島 一 希	中 薮 祐 介	本 多 裕 哉	山 下 大 介
伊 藤 広 悟	大 月 祥 司	木 塚 政 博	永 尾 辰 也	馬 迫 豊 和	山 中 景 星
今 井 克 成	大 森 淳 一	木 村 謙 太	永 瀬 高 志	水 浦 守	山 本 高 義
岩 井 智 宏	岡 本 巧 貴	齋 藤 健 一	奈 良 文 雄	宮 崎 裕	蓬 田 有 基
岩 佐 俣 好	岡 本 好 邦	櫻 田 泰 己	成 田 正 明	本 賀 護	渡 部 克 裕
上 野 恭 平	小 川 雅 司	佐 藤 勇 介	西 村 実	森 谷 隆	渡 辺 伸 哉
上 野 光 人	小 野 悟	芹 沢 淳	野 田 潤		

■整地・運搬・積込み用・掘削用及び解体用機械

石 原 欣 泰	角 一 正 崇	出 口 昌 央	西 本 理	久 富 隆 史	山 田 健 太
大 津 浩 義	高 野 哲 也	富 田 勝	橋 本 武 俊	平 村 法 彦	山 本 竜 也
大 中 雄 治	木 暮 淳	西 村 浩 一	橋 本 敏 之	福 地 徳 晃	吉 田 晃 一
大 本 裕 介	重 森 芳 樹				

■基礎工事用機械

合 原 靖 隆					
---------	--	--	--	--	--

■締固め用機械

甲 斐 久 雄	竹 部 仁	藤 松 幹 男	前 畑 信 介	満 長 孝 樹	
---------	-------	---------	---------	---------	--

■コンクリート打設用機械

貝 森 正 教 | 金 岡 憲 志 | 早 瀬 和 之 | | |

■高所作業車

青 木 神	井 上 智 貴	小 澤 竜 也	國 近 瑠 依	高 橋 勇 介	松 村 光 洋
青 山 哲	井 上 泰 宏	加 藤 智 信	齋 藤 健 一	竹 田 光 輝	松 山 靖 宏
吾 郷 裕	江 口 晶	加 藤 希	佐々木 継	照 井 泰 孝	宮 田 栄 作
安 齋 晃 洋	大 竹 正 樹	上遠野 寛 和	四 宮 祐 治	中 村 秀 之	持 田 和 彦
石 田 和 也	大 東 幸 雄	金 子 巧	関 隆 人	樋 爪 練	山 田 和 矢
井 手 浩 一	小 坂 孝 司	菊 池 聡	高 橋 和 良	福 山 重次郎	

検査業者検査員資格取得者

■フォークリフト

青 木 雅 典	遠 藤 徳 之	古 島 大 地	鈴 木 誠	永 野 敏 樹	古 家 勇 太
赤 木 久 修	大 石 信 次	小 嶋 晴 美	清 家 佑 介	那 須 秀 樹	星 野 彰 宏
秋 田 康 博	太 田 知 希	小 谷 勝 巳	瀬 川 大 樹	成 富 裕 一	保 田 直 斗
阿知波 孝 祐	大 塚 久 雄	小 林 和 馬	早 田 憲 充	西 川 諒	堀 元 伸 二
安 藤 隆 諒	大 原 崇 行	小 林 大 貴	高 瀬 隆 之	西 本 博 樹	前 田 澄 人
石 井 和 樹	大 久 健 人	小 林 義 明	高 田 和 雅	西 山 椋	増 井 和 幸
石 井 誠	大 森 武 志	古 屋 田 拓 真	高 橋 俊 光	布 村 佳 樹	松 井 遼 亮
石 川 英 和	岡 慎 吾	齋 藤 孝	高 橋 直 樹	野 口 裕 貴	松 嶋 啓 太
石 澤 英 明	岡 本 侑 真	坂 上 幸 広	高 橋 楓 也	野 尻 喜 幹	松 田 好 正
石 橋 真 介	隠 岐 大 佑	佐々木 祐 介	高 山 博 志	野 村 亮 太	松 永 仁 位 瑠
出 雲 新	奥 仲 健 二	佐々木 裕 介	竹 内 優 立	袴 田 健 吾	三 浦 稜 斗
磯 井 涼 介	奥 間 英 輝	佐 藤 一 信	竹 花 浩 孝	畑 志 歩	水 上 晶 仁
五十部 祥 隆	甲 斐 敦	佐 藤 純 也	立 石 達 也	浜 田 賢	宮 川 拓
伊 東 恭 典	甲 斐 修	佐 藤 聖 也	田 中 宏 治	林 経 臣	村 井 剛
伊 藤 博 史	加 口 敬 久	佐 藤 祐 司	田 辺 陽 司	東 喜 樹	村 井 政 之
犬 飼 隼	勝 又 秀 樹	品 川 広 地	田 村 公 明	東 谷 康 太	本 村 耀
井 上 寿 哉	加 藤 翔	柴 田 彰 仁	丹 波 悟	樋 上 晴 貴	森 木 周 平
井 上 正 樹	唐 邦 亮	嶋 津 恵 悟	恒 松 勝 矢	平 本 貴 裕	森 島 稜 也
入 谷 将 成	川 合 爽 平	下 地 一 史	富 尾 晃	福 田 義 三	森 原 啓 太
岩 崎 翔 太	川 口 翔	下 世 拓 海	富 岡 正 彦	藤 江 遼 太	森 山 宏 昭
上 田 康 二	岸 本 英 利 也	下 山 光 太	富 田 尚 希	藤 村 佳 広	八 代 修 治
宇津木 祥 憲	北 市 大 輝	白 井 健 斗	中 嶋 裕 人	藤 本 俊 介	谷 田 貝 昭 良
浦 龍 彦	工 藤 和 也	杉 本 陽 一	仲 手 川 智 彦	藤 原 遊 平	山 下 智 哉
江 田 仁 司	畔 柳 真 也	鈴 木 一 生	中 野 文 人	古 谷 淳	山 田 治

山田聖也	山本勝哉	山本悠司	吉田興輝	吉野正也	吉村将人
山田友佳	山本太郎	柚木康平	吉田龍樹		

■整地・運搬・積込み用・掘削用及び解体用機械

石田栄一朗	黒沢昌生	杉田佑登	角田隆太	福盛健人	真辺信義
石塚愛典	小嵐健	鈴木翔太	鳥羽瀬涉	藤岡徳之	丸田孝
乾泰晋	小郷博之	鈴木裕介	鳥越雅博	藤田祐介	村山勝也
入江寛佳	小林正宜	住徳瑛	名嘉一了	船岡伸一	本館和幸
右近茂樹	坂井寿光	関根豊	中坊唱	古旗太海矢	盛田直樹
大橋悠一	佐々木涼	高田庸平	長岡亮太	古谷嘉和	山田治
大南貴司	佐藤伸幸	瀧誠太郎	似里俊克	細川貴洋	山根昭二
沖野学	三野宮信一	田邊敦志	二瓶祐二	牧野扶憲	吉田英利
小野剛	島津和彦	千田学	原田芳雄	町田卓也	吉田泰樹
小幡良平	清水翔生	塚部専太郎	東敬伸		

■基礎工事用機械

相沢滋岐	阿部佑也	柴田功	鳥羽瀬涉	永用寛	
------	------	-----	------	-----	--

■締固め用機械

大城盛夫	小倉隼人	渋谷正行	高田祐希	橋本裕太	
------	------	------	------	------	--

■コンクリート打設用機械

犬飼翔也	越後谷秀一	久林和弘	西村暁	正留宏樹	山田宏
------	-------	------	-----	------	-----

■高所作業車

相澤功一	岡本学	小西幸夫	高橋慎二	中島芳文	辺見健一
青木大地	岡本義輝	坂木卓真	瀧口学	仲田裕一	星崇志
阿部裕介	小田垣龍一	佐藤健太	立山薫	名越陽祐	堀信二郎
荒木顕太	小野寺亮彦	佐野安紀	田中彰	仁井田涉	前原豊輝
飯村翔太	格和史武	志賀洋介	田中豪	新山憲寿	松原智也
石橋裕史	賀光広幸	篠原秀夫	田中寛宝	西村健太	丸尾武彦
石山優	梶原正敏	柴田彰仁	田中裕真	沼倉一晃	三浦純一
市川雅和	加藤譲	城間誠一郎	棚原徹	野田憲司	三輪剛士
伊藤壮信	加藤義隆	杉野達矢	谷口了太	濱頼人	村山研司
稲葉有祐	門田永一	鈴木久司	田村亮	浜中勇一	森一浩
岩田翔也	木口勝	鈴木将斗	津田祐希	原口真	森岡大裕
上野隼	熊手誠	須藤康弘	筒井良紀	春山幸一	森安剛義
植松学	鞍本良平	関浩司	戸田賢志	東伸一成	山崎洋平
内山匠	小芝一広	高嶋洋介	中陽平	藤成剛志	吉川卓宏
太田信広	小関一徳	高瀬隆之	中尾晃	觸澤朋和	渡辺祐介
岡村武士	小玉英雄				

お知らせ

けんにきょう

建荷協発行図書等のご案内

令和2年度版

確かめる 機械の安全 特自検



建設荷役車両安全技術協会

ご案内する図書等は公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会（略称 建荷協（けんにきょう））都道府県各支部にてご購入いただけます。

■ 特定自主検査制度の入門解説

特定自主検査制度についての入門編

安全と特定自主検査のおはなし

「なぜ特定自主検査が必要なのか？特定自主検査とはどのようなものか？」をご理解いただけるよう、イラストを使いわかりやすく解説したものです。

(H25.6改訂C版発行)



特定自主検査の対象機械について

特定自主検査対象機械の概要

特定自主検査を行うべき機械等の代表的なものを写真、図で示し、特徴、用途などの概要をまとめたものです。

また、一部対象外機械についても掲載しています。

(H29.3改訂D版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
安全と特定自主検査のおはなし	PC-ZC-02-C	220 円	330 円

品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査対象機械の概要	SC-ZC-01-D	660 円	1100 円

■ 特定自主検査済標準

特定自主検査 実施年月の明示

特定（定期）自主検査済標準

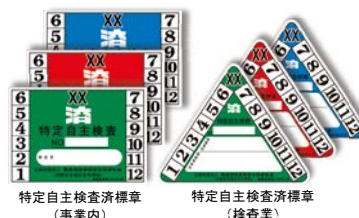
・ 特定自主検査済標準

労働安全衛生規則に基づき、フォークリフト、不整地運搬車、車両系建設機械及び高所作業車について、年1回（不整地運搬車は2年に1回）実施することとされている特定自主検査を行った年月を明らかにするため、厚生労働省のご指導のもとに作成した標準です。検査業者用と事業内用とがあります。

・ 定期自主検査済標準

労働安全衛生規則に基づき、「建機付属クレーン部分」、「ショベルローダー、フォークローダー及びストラドルキャリアー」について、年1回実施することとされている定期自主検査（年次検査）を行った年月を明らかにするため当該機械に貼る標準です。

品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査済標準（事業内）	BP-LH-02	330 円	990 円
特定自主検査済標準（検査業）	BP-LR-02		
定期自主検査済標準	BP-LRI-02		

特定自主検査済標準
（事業内）特定自主検査済標準
（検査業）

定期検査済標準

【注記】 検査済標準の色は、毎年1月1日をもって暦年ごとに変更されます。旧年発行の標準は同日以降使用できませんのでご注意ください。

特定自主検査に係る標準等について

標準の使い方から管理まで

特定自主検査を行ったときに貼付する標準等の取扱いについて解説したものです。

(H27.4改訂E版発行)

品 名	品 番	会員価格	一般価格
標準の使い方から管理まで	BC-ZC-05-E	220 円	330 円



表記の価格は全て消費税10%込の価格です。

■ 特定自主検査の実施

検査方法と判定基準

定期自主検査指針

労働安全衛生法、第45条第3項の規定に基づき公示にされた特定(定期)自主検査の検査項目、検査方法および判定基準をまとめたものです。

品名	品番	会員価格	一般価格
フォークリフト	SG-LC-01-A	330 円	440 円
不整地運搬車	SG-GR-01	220 円	*330 円
車両系建設機械	SG-KC-01-B	*440 円	*550 円
高所作業車	SG-HL-01	*330 円	*440 円
フォークリフト(月次)	SG-LC-11-A	220 円	330 円

* の価格は R2.4.1 以降の頒布価格になります。



検査結果の記録

特定(定期)自主検査記録表

特定(定期)自主検査を行った際に、当該機械の検査結果および補修措置等を記録しておくものです。

- ・記録表は3年間の保存義務があります。
- ・記録表は公益社団法人建設荷役車両安全技術協会の著作物です。無断で複製、転用することを禁じています。
- ・記録表は機械性能の向上に伴い随時改訂しています。

品名	品番	会員価格	一般価格
特定(定期)自主検査記録表(普通紙 1冊50部)		495 円	770 円
特定(定期)自主検査記録表(ノンカーボン 1冊25部(正副2枚で1部))		*737 円	1100 円

* の価格は R2.4.1 以降の頒布価格になります。



記録表の記入方法

特定自主検査記録表の記入要領

特定自主検査記録表は、機械性能の向上により随時改訂されています。

最新の記録表についても正確に記入できる様、記入方法を解説しています。

(R2.4改訂Q版発行)



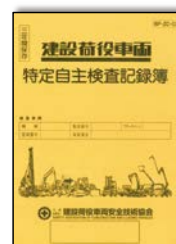
品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査記録表の記入要領	*TC-ZC-02-Q	440 円	550 円

* は改訂により R2.4.1 以降の頒布開始になります。

記録表の保存

特定自主検査記録簿

省令により3年間保存義務がある特定自主検査記録表をファイリングしておくためのものです。



品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査記録簿	BP-ZC-03	110 円	165 円

特定自主検査業務を適正に行うための帳簿

特定自主検査台帳

- ・特定自主検査台帳 事業内用

特定自主検査済標章の受払を管理する「標章受払簿」と、保有機械の特定自主検査実施状況管理に使用する「標章貼付簿」を一体にしたものです。

- ・特定自主検査台帳 検査業者用

特定自主検査済標章の受払を管理する「標章受払簿」と、特定自主検査業務を適正に行うための「特定自主検査台帳」、検査料収納の管理に使用する「検査料金収納簿」を一体にしたものです。

品名	品番	会員価格	一般価格
特定自主検査台帳 事業内用	BC-ZC-04-A	500 円	825 円
特定自主検査台帳 検査業者用	BC-ZC-07	1650 円	2200 円



表記の価格は全て消費税 10%込の価格です。

■ 検査者標識

検査者標識は、「検査者であることを第3者が識別できる」とこと、「検査者としての意識の高揚」を目的として検査者に着用させるものです。

協会では**腕章**及び**ワッペン**（作業服等にアイロンで接着させる方式）とヘルメット等に貼付できる**シール**を用意しています。

・検査者腕章、特自検腕章

特定自主検査資格者であることを示すため着用するものです。

品名	品番	会員価格	一般価格
検査者腕章	BP-YC-01	1100 円	1650 円
検査者ワッペン	BP-YC-02	330 円	550 円



検査者腕章



検査者ワッペン

・検査者シール（検査業者用、事業内用）

検査者が特定自主検査を行える資格の種類（検査業者、事業内）、機種を示すためのものです。

特定自主検査対象機種	検査業者用	事業内用	会員価格	一般価格
フォークリフト	BP-YC-11-A	BP-YC-21	110 円	165 円
整地・運搬・積込用・掘削用および解体用機械	BP-YC-12-A	BP-YC-22		
基礎工事用機械	BP-YC-13-A	BP-YC-23		
締固め用機械	BP-YC-14-A	BP-YC-24		
コンクリートポンプ車	BP-YC-15-A	BP-YC-25		
高所作業車	BP-YC-16-A	BP-YC-26		
不整地運搬車	BP-YC-17-A	BP-YC-27		



■ 教育資料

当協会で実施する特定自主検査者資格取得研修および能力向上教育等で使用されている図書です。

・特定自主検査マニュアル 特定自主検査の検査方法等を機種、部位別に解説しています。

品名	品番	会員価格	一般価格
検査機器	TQ-ZC-01-E	660 円	990 円
原動機（ディーゼル・ガソリン）	TQ-KE-01-F	2420 円	3630 円
油圧装置	*TQ-KH-01-E	1540 円	1980 円
上部旋回体 下部走行体	*TQ-KB-01-E	2420 円	3080 円
ジブ・リーダー・ワイヤーロープ	*TQ-KJ-01-D	1210 円	1540 円
フォークリフト	TQ-LC-02-G	1320 円	1980 円
不整地運搬車	TQ-GR-01-E	880 円	1320 円
車両系建設機械（整地等用）	TQ-GC-02-A	3300 円	5280 円
（基礎工事用）	TQ-FC-01-E	3080 円	4620 円
（締固め用）	TQ-RC-01-D	1210 円	1760 円
（コンクリート打設用）	TQ-CP-01-E	1100 円	1760 円
高所作業車	TQ-HL-01-D	1320 円	1980 円
特定自主検査と補修	TC-ZC-01-F	550 円	880 円

*は改訂により R2.4.1 以降の頒布開始になります。



・能力向上教育テキスト 機種別に最新の技術等を紹介しています。

品名	品番	会員価格	一般価格
フォークリフト	TL-LC-01-D	3520 円	5280 円
整地・運搬等&ブレイカ	TL-GE-01-F	3630 円	5500 円
締固め用機械	TL-RC-01-C	1650 円	2530 円
基礎工事用機械	TL-FC-01-D	1980 円	2970 円
不整地運搬車	TL-GR-01-B	660 円	990 円
コンクリートポンプ	TL-CP-01-C	1430 円	2090 円
高所作業車	TL-HL-01-C	1760 円	2750 円



・その他

品名	品番	会員価格	一般価格
フォークリフト安全運転テキスト	TQ-LC-02-B	1540 円	1540 円
ショベルローダー等定期自主検査マニュアル検査・整備基準値表	TQ-SR-02-C	1760 円	2640 円
業務点検コーステキスト	TT-YC-01-C	1100 円	1650 円



表記の価格は全て消費税 10%込の価格です。

■ 特定自主検査業務の管理

特定自主検査の適正実施のために
特定自主検査業務マニュアル

検査業者の業務や事業内検査の業務を適正に遂行するための管理のポイントおよび実務の詳細を説明したものです。

また、特定自主検査全般を管理する事業者が知っておかなければならない労働災害防止に関する法令や事業者の責務等をまとめたものです。(R1.11 発行)

注記)本書は特定自主検査業務マニュアル検査業者用(BP-ZC-01-F)、事業内検査(BP-ZC-02-E)および特定自主検査とその管理(BC-ZC-06-D)の内容を合わせたものです。



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査業務マニュアル	BC-ZC-08	1650 円	2530 円

特定自主検査制度に関する法令、通達
特定自主検査関係法令通達集

特定自主検査制度に関する法の条文ごとに関係する最新の規則・通達等をまとめたものです。

(H28.3 改訂 J 版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査関係法令通達集	BC-ZC-03-J	2310 円	3520 円

特定自主検査の実施経歴の管理
特定自主検査実施経歴書

特定自主検査の実施時期を明確にするとともに、特定自主検査が、いつ、だれが実施したかを記入できるようになっており、機械の履歴管理に活用できます。

品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査実施経歴書(フォーク)	BP-LC-01	55 円	110 円
経歴書ビニルケース(フォーク用)	BP-LC-02	165 円	330 円
特定自主検査実施経歴書(建機用)	BP-OH-01	55 円	110 円
特定自主検査実施経歴書(解体機用)	BP-OH-02	55 円	110 円

登録検査業者の諸手続きについて
特定自主検査登録検査業者必携

登録検査業者が、厚生労働大臣または都道府県労働局長に登録申請・業務規程変更等の際に留意すべきポイントを解り易く解説したものです。また、参考となる業務規程例を示してあります。

(H31.4 改訂 K 版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査登録検査業者必携	BC-ZC-01-K	550 円	880 円

特定自主検査制度についての疑問を解説
特定自主検査に関するQ & A

特定自主検査制度に関するさまざまな疑問を「Q&A集」としてまとめたものです。

(H26.10 改訂 A 版発行)



品 名	品 番	会員価格	一般価格
特定自主検査に関するQ & A	BC-YC-01-A	440 円	770 円



表記の価格は全て消費税 10%込の価格です。

お問い合わせ先

LF-YC-01-20 令和2年3月

支 部 一 覧

令和2年2月1日現在

支部名	〒	所 在 地	電話番号	FAX
北海道	060-0004	北海道札幌市中央区北4条西7丁目 NCO札幌ホワイトビル9階	011(271)7720	011(271)7580
青 森	030-0902	青森県青森市合浦1-10-7	017(765)5432	017(765)5433
岩 手	020-0873	岩手県盛岡市松尾町17-9 岩手県建設会館2階	019(626)2616	019(626)2627
宮 城	983-0842	宮城県仙台市宮城野区五輪1-6-9 五輪黄葉ビル201号	022(298)2150	022(298)2151
秋 田	010-0923	秋田県秋田市旭北錦町1-14 秋田ファーストビル210号室	018(823)8258	018(823)8260
山 形	990-8681	山形県山形市流通センター 2-3 山形流通団地組合会館内	023(666)6581	023(666)6582
福 島	960-8035	福島県福島市本町5-8 福島第一生命ビル4階	024(521)8065	024(521)8248
茨 城	311-3116	茨城県東茨城郡茨城町長岡3652-559	029(292)6546	029(292)6547
栃 木	321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28 卸商業団地協同組合別館202	028(656)6111	028(656)6112
群 馬	371-0805	群馬県前橋市南町4-30-3 勢多会館1階	027(223)3448	027(223)3451
埼 玉	330-0062	埼玉県さいたま市浦和区仲町1-12-1 カタヤマビル5階A	048(835)3050	048(835)3055
千 葉	260-0026	千葉県千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階303号	043(245)9926	043(245)9927
東 京	102-0072	東京都千代田区飯田橋1-7-10 山京別館4階	03(3511)5225	03(3511)5224
神奈川	231-0011	神奈川県横浜市中区太田町6-87 横浜フコク生命ビル10階	045(664)1811	045(664)1817
新 潟	950-0961	新潟県新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館内	025(285)4699	025(285)4685
富 山	930-0094	富山県富山市安住町3-14 富山県建設会館内	076(442)4358	076(442)6748
石 川	920-0806	石川県金沢市神宮寺3-1-20 コマツ石川(株)レンタル事業部事務所2階	076(208)3302	076(208)3303
福 井	910-0854	福井県福井市御幸4-19-25 広田第2ビル2階	0776(24)7277	0776(24)9507
山 梨	409-3867	山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1602 ササモトビル2階	055(226)3558	055(226)3631
長 野	380-0872	長野県長野市妻科426-1 長野県建築士会館4階	026(232)2880	026(232)6606
岐 阜	504-0843	岐阜県各務原市蘇原青雲町5-34	058(382)5011	058(382)5120
静 岡	422-8045	静岡県静岡市駿河区西島127	054(236)4008	054(236)4031
愛 知	450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅4-23-13 大同生命ビル3階	052(586)0069	052(586)0010
三 重	514-0009	三重県津市羽所町601 アカツカビル4階	059(223)7177	059(223)7180
滋 賀	520-0043	滋賀県大津市中央4-5-33 SKビル2階C	077(521)5260	077(521)5352
京 都	600-8009	京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78 京都経済センター 4階	075(351)0250	075(351)0251
大 阪	540-6591	大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル8階	06(6944)6611	06(6944)6612
兵 庫	650-0024	兵庫県神戸市中央区海岸通8 神港ビル703号	078(332)4936	078(392)8921
奈 良	630-8113	奈良県奈良市法蓮町163-1 新大宮愛正寺ビル2階(公社)奈良県労働基準協会内	0742(93)5181	0742(36)5715
和歌山	640-8287	和歌山県和歌山市築港3-23 和歌山港湾労働者福祉センター 1階	073(435)3337	073(435)3338
鳥 取	682-0892	鳥取県倉吉市東巖城町12 中部建設会館1F	0858(22)1400	0858(23)4667
島 根	690-0012	島根県松江市古志原2-20-54	0852(27)0340	0852(27)0556
岡 山	700-0907	岡山県岡山市北区下石井2-8-6 第2三木ビル205	086(222)6039	086(222)4296
広 島	733-0011	広島県広島市西区横川町1-11-24 山田オフィスビル202	082(291)1150	082(291)3413
山 口	753-0083	山口県山口市後河原25 愛山会ビル2階	083(932)1858	083(932)1859
徳 島	770-0808	徳島県徳島市南前川町4-14 船橋設計ビル2階	088(622)8243	088(622)8243
香 川	760-0062	香川県高松市塩上町10-5 池商はせ川ビル113	087(837)3668	087(837)3671
愛 媛	790-0003	愛媛県松山市三番町7-8-1 山本ビル2階	089(941)6740	089(941)7361
高 知	780-0072	高知県高知市杉井流9-11	088(882)5025	088(882)0837
福 岡	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-14 正和ビル4階402	092(474)2246	092(474)2312
佐 賀	849-1301	佐賀県鹿島市大字常広139-2	0954(62)6315	0954(62)6368
長 崎	854-0072	長崎県諫早市永昌町10-8-202	0957(49)8000	0957(49)8001
熊 本	860-0845	熊本県熊本市中央区上通町7-32 蚕糸会館3階	096(356)6323	096(356)6325
大 分	870-0844	大分県大分市大字古国府字内山1337-20 大分県林業会館4階	097(540)7177	097(540)7127
宮 崎	880-0802	宮崎県宮崎市別府町2-12 宮崎建友会館3階	0985(23)5061	0985(23)5129
鹿児島	891-0123	鹿児島県鹿児島市卸本町6-12 オロシティーホール内	099(260)0615	099(260)0646
沖 縄	901-2131	沖縄県浦添市牧港5-6-3 南海建設4階	098(879)3744	098(879)3757

編 集 後 記

昨年に新元号「令和」となり1年足らずですが、「令和」も2年目を迎えています。

今年の目玉はなんと言っても、2度目の東京オリンピック開催の年となることではないでしょうか。開幕まで残りわずか。真夏の開催で選手に及ぼす影響が懸念されていますが、そうしたことも乗り越えて、良い記録が続出する大会になればと思っています。

建設荷役機械も過酷な環境で使用されるものです。人間のように鍛えることは出来ませんが、定期的に点検・整備を行うことによって、安全かつ安定的に稼働出来るように維持することが可能です。その一端を担うのが特定自主検査です。引き続きその普及・拡大に努めてまいりますので、皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

ご意見・ご要望等は E-mail : koho@sacil.or.jp までお願いします。

[広報委員：新谷 勝幸 記]

委員長

山本 泰徳 [池田内燃機工業㈱]

平山 哲也 [大成建設㈱]

副委員長

佐藤 裕治 [住友建機㈱]

兼八 淳 [日本通運㈱]

室町 正博 [日通商事㈱]

委 員

津川 元 [コベルコ建機㈱]

小澤 真一 [事務局：常務理事]

栗原 正行 [コマツ]

水島 敏文 [事務局：広報部]

新谷 勝幸 [日立建機㈱]

遊部 浩司 [同]

大津 義寛 [コマツ]

吉田 岳 [同]

加藤 彰秀 [㈱豊田自動織機]

在田 浩徳 [清水建設㈱]

(令和2年1月1日現在)

「建設荷役車両」 VOL. 42 第246号

令和2年2月18日 印刷

令和2年3月2日 発行

発行所 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 (ニュー九段ビル9F)

TEL: 03 (3221) 3661 / FAX: 03 (3221) 3665

URL <http://www.sacil.or.jp/>

編 集 広報委員会

発行人 小澤 真一

印刷所 株式会社東伸企画

ユーザー名 (U) sacilhp パスワード (P) sacilhp

機関誌「建設荷役車両」広告掲載案内

建設荷役車両に関わるすべての企業のために
私たちの協会があります。

当協会は、建設荷役車両(車両系建設機械、荷役運搬機械)の検査・整備業、リース・レンタル業、ユーザー、メーカーなどから構成された団体です。

これらの企業が協力して、建設荷役車両の性能の保持向上と作業の安全を確保するために定期(特定)自主検査制度の定着化を推進しています。

販売促進の可能性をつむぎ出すために・・・。

B (Business) to B(Business) & H(Heart) to H(Heart)

「建設荷役車両」広告掲載料金
B5版 隔月奇数月発行 発行部数：5,100部

掲載場所	頁／色	掲載料金
表紙2	1頁／1C	42,000円
表紙3	1頁／1C	36,000円
表紙4	1頁／2C	54,000円
前 付	1頁／1C	34,000円
後 付	1頁／1C	30,000円

- 広告原稿締切日：発行前月の7日
- 上記広告掲載料金以外に図案制作、エアーブラシ、トレース及び製版等の制作費及び消費税は別途頂戴致します。

お問い合わせ先 広報部：03-3221-3661



社団法人 **建設荷役車両安全技術協会**
SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION & LOADING VEHICLES
会長 酒井 信介

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 ニュー九段ビル 9F
TEL：03-3221-3661 FAX：03-3221-3665 URL <http://www.sacl.or.jp/>



特定自主検査業者の必需品!

内容明細

- ノズルテスター
- コンプレッションテスター
- デジタル回転計
- サーキットテスター
- バッテリークーラントテスター

特定自主検査用計測器

- カラーチェック
- 足廻り測定セット
- シックネスゲージ
- ノギス
- 油圧測定工具 (40MPa)

* Aセットでは非接触型の回転計となります。

Bセットではデジタル回転計はディーゼル専用(燃料高压管検知)となります。

* フォークリフト用チェーンゲージ、ガソリン車専用回転計も別途承ります。

本件の問い合わせ、ご注文は相模原事業所整備油機課までお願いいたします。

TEL 042(751)3809 FAX 042(756)4389



新商品のご案内

ポータブル流量計(ポータブル油圧テスタ)(英国 WEBTEC社製)

オイルコンポーネントの保守管理

- 建設機械の油圧システムの流量・圧力・温度を簡単に計測できます。
- ポータブルなので、フィールドサービスでの故障診断・保守点検に威力を発揮します。
- 双方向の計測が可能ですので、計測時間が短縮できます。
- 計測能力

モデル DHT401 : 10-400 リッター/分 圧力 : 最大 40MPa

モデル DHT801 : 20-800 リッター/分 圧力 : 最大 48MPa

- 接続口金、ホースも別途ご用意しておりますので、お問い合わせください。
- 詳細は弊社ホームページでご確認ください。



作動油汚染度測定器 オイルコンタミチェッカー (英国MP FILTRI社製)

オイル管理はコンタミ管理から

- 測定油にレーザー光を照射、その透過率から固体汚染物の粒子の大きさと数を測定します。
- 測定結果は「NAS等級」、「ISO4406コードNo」のどちらにも対応、同時にプリントもできます。
- 油圧ラインに直接接続、本体が稼動したままで測定するライン計測と、採取油のサンプリング測定との2通りの測定方法。(別途サンプリングキットを使用)
- 測定結果は本体にメモリー、パソコンへの転送も可能です。
- ディーゼル燃料の汚染度も測定可能です。



オイルコンタミチェッカー LPA-2

New インラインコンタミネーションモニター (英国MP FILTRI社製)

装置組込みタイプ

- 油圧装置への組込みで、オイルの清浄度を常時監視できます。
- USBメモリスティックでデータを簡単にダウンロードできます。(オプション)
- 専用ソフトウェアが付属、お手持ちのPCで容易にデータの取りまとめができます。
- 計測結果は内部メモリーに自動保存できます。
- データの通信はシリアル通信・アナログ通信共に対応しています。
- ICMモニター上で汚染度の等級(ISO4406/NAS 1638)、粒子分布が確認できます。
- 水分計測(%RH)、温度計測ができます。



その他、豊富な整備経験により生まれた油圧テスター・特殊工具の製造販売および各種専用機械・工具等の輸入販売を致しております。



マルマテクニカ株式会社

■本社・相模原事業所 SE営業課

〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台6-2-1

TEL 042(751)3024 FAX 042(751)9065

E-mail: overseas@maruma.co.jp

■東京工場

〒156-0054 東京都世田谷区桜丘1-2-22

TEL 03(3429)2141 FAX 03(3420)3336

■名古屋事業所

〒485-0037 愛知県小牧市小針2-18

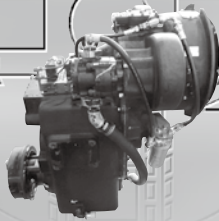
TEL 0568(77)3311 FAX 0568(77)3719

URL <http://www.maruma.co.jp>

MARUMA

あらゆる建設機械／シールドマシン・・・ 油圧機器の整備・再生

各種トランスミッション整備ご相談に応じます。



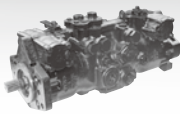
建設機械用ZFトランスミッション

点検・整備は、日本ではマルマのみが対応

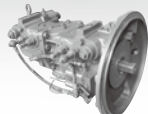


建設機械のあらゆる油圧機器

斜板式ダブルポンプ



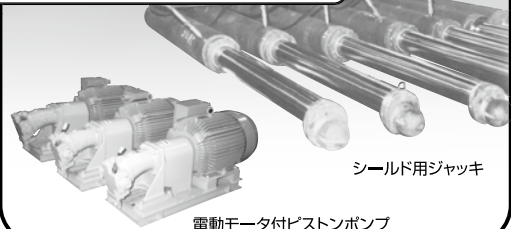
斜板式ピストンポンプ



斜軸式ピストンモーター



シールドマシン用油圧機器



シールド用ジャッキ

電動モータ付ピストンポンプ

建機と共に半世紀以上。確かな「信頼」をお届けします！

整備・再生された各Ass'yは、自社独自開発の多機能油圧機器試験機により性能を確認。各テストのデータはデータベースとして保存され、出荷後、マッチング調整や、搬送されてきた同等品の確認テストに活用します。この万全を期した体制がマルマの高い信頼性の由縁です。



MH-R220は従来の油圧ドライブ型油圧機器試験機に比べ、インバータ制御電動モーター駆動、及びエネルギー回生回路の採用により大幅な消費電力量の削減を実現しました。大型油圧ポンプの試験も可能です。



マルマテクニカ株式会社

本社・相模原事業所 営業部 整備油機課

〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台6丁目2番1号

TEL042 (751) 3809 FAX042 (756) 4389

E-mail:yuki@maruma.co.jp

東京工場 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘1-2-22

E-mail:tokyo@maruma.co.jp

名古屋事業所 〒485-0037

E-mail:n-service@maruma.co.jp

TEL03 (3429) 2141 FAX03 (3420) 3336

愛知県小牧市小針2-18

TEL0568 (77) 3311 FAX0568 (77) 3719

ホームページにおいても油圧機器整備公開中

URL <http://www.maruma.co.jp/>

A K T / O グループ

エスアールエス 相模原教習センターは、
建機レンタル「エスアールエス株式会社」運営の登録教習機関です。

エスアールエス HP : <http://www.srscorp.co.jp/>

はたらく機械の教習所・資格取得



駐車場
完備

さあ、今から資格を取る準備を始めませんか？

学ぶ・育てるの未来を考え、
チャレンジするあなたをサポート！



未経験者
女性歓迎



- フォークリフト
- 車両系建設機械
- 高所作業車
- 小型移動式クレーン
- 玉掛け
- ガス溶接



修了証
即日発行



PICK UP!

◆伐木補講開催中

学科教育・実技教育の科目が追加されます。従来の特別教育を修了されている方は、2020年7月末日までに追加科目を受講しなければ8月以降はチェーンソーを用いた伐木業務に従事することが出来なくなりますので、対象の方はお早めの受講をお勧めいたします。

◆新入社員研修

自ら考え安全への取り組みを自主的に行えるように入社された社員の方々への教育の一環として是非ご利用ください。

◆出張講習 随時、ご相談・ご対応致します。(一部教習項目除く)

◆外国人コース 外国人向け講習を開始致しました。まずはご相談ください。

技能講習

- フォークリフト運転技能講習
- 玉掛け技能講習
- 車両系建設機械（整地・運搬・積み込み用及び掘削用）運転技能講習
- 車両系建設機械（解体用）技能講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- 高所作業車運転技能講習 ●ガス溶接技能講習

特別教育

- 小型車両系建設機械（整地用3トン未満）の運転
- フォークリフト（最大荷重1トン未満）
- 高所作業車（2～10m未満）の運転業務
- アーク溶接等の業務
- フルハーネス型墜落制止用器具
- 伐木（チェーンソー）等の業務 直径70cm未満
- ……その他の教習科目もご用意しています。

安全衛生教育

- 職長・安全衛生責任者
- 刈払機取扱作業
- 有機溶剤業務従事者
- 振動工具の取扱い（チェーンソー除く）
- 丸のこ等取扱い作業従事者

お申込み・詳細は Web サイトから！講習の空き状況を確認、予約もできます。

エスアールエス 教習

検索

教習センター HP

<https://www.srs-kyoshucenter.com/>

紹介動画は
コチラ！



ホームページは
コチラ！



神奈川県労働局長登録教習機関

エスアールエス株式会社 相模原教習センター

〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名 3495-2 TEL : 042-760-6250 FAX : 042-760-6251

ちょっと待って

まだ使えます、そのエンジン！

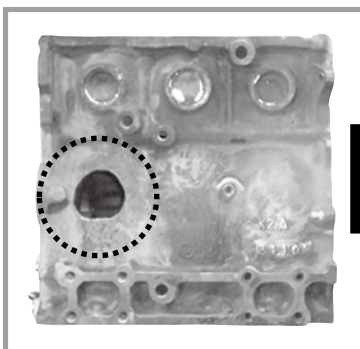


あきらめる前に是非ご一報下さい!!24時間お気軽にお電話下さい

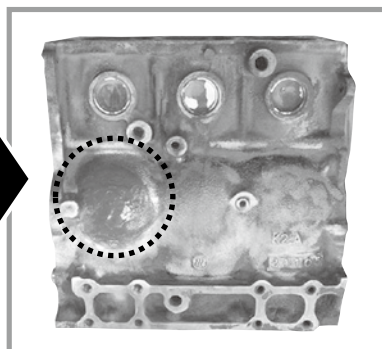
★シリンダーブロック足出し補修再生★



E-mail: info@web-krw.com



補修前



補修後

皆さんがお困りの事解決いたします！

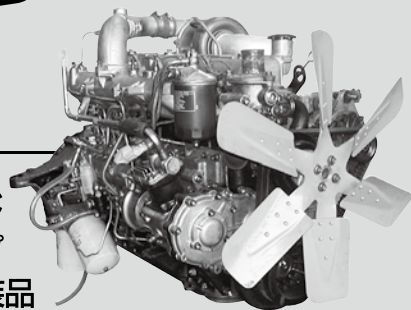
リビルト品の活用は

★リビルトエンジン、リビルト噴射ポンプ、エンジン付属品リビルト、リビルト電装品のことならおまかせください。

不況脱出の切り札！

業務内容

- リビルトシリンダーブロック ●リビルトシリンダーヘッド
- リビルトターボチャージャー ●リビルトウォーターポンプ
- リビルト噴射ポンプ ●リビルト噴射ノズル ●リビルト電装品
- 非常用発電機のエンジンメンテナンス ●不良エンジンの買取り・・・まで



新たな気持ちで50周年に向けスタートします。



製品に関するご質問・価格等のお問合せは下記まで。

TEL.076-272-3334 FAX.076-272-3332

詳細はホームページで URL: <http://www.web-krw.com> E-mail: info@web-krw.com



ボッシュサービスステーション

株式会社 北日本リビルトワークス 〒920-2132 石川県白山市明島町山142番地1

※ 弊社の全再生品は、整備業者様のための販売とさせていただきます。(脱着・整備等が困難なため、エンドユーザー様への販売はしていません。)



大型解体機向け 超高耐久カップリング

大型解体機、高所解体機の分解・組立作業を効率よくクリーンに！
セインの**TLXシリーズ** 超高耐久フラットフェースカップリング

採用事例



超高耐久

- 独自のデザインにより類まれな耐久性を実現
激しい圧力変動に適応します。
- 各解体アタッチメントにも適応します。

分離時液ダレ無し

- 分離時油モレのないフラットフェースデザイン
はアタッチメント交換時の環境汚染を防ぎ、
作動油の補充量を大幅に削減します。

高いメンテナンス性

- 主な消耗部品はユーザー様にて交換が可能
作業現場のダウンタイムを削減します。
- センドバックメンテナンスにより分解修理が
可能、長期間安心して使用できます。

TLXシリーズ主な特徴

高合金鋼ボディ

- 高い耐圧力性能を実現します。
- 最高使用圧力42MPa/最低破壊
圧力168MPa ※接続時

ピンロック採用

- 振動による緩みを防ぎます。
- 接続状態の確認が目視で
可能です。

シール交換可能

- 最も消耗の激しい接続部シール
はユーザー交換が可能です。
- その他製品内部のシールも消耗し
た場合、工場にて分解修理します。

シールプロテクトデザイン

- 接続時、シール材 (Oリング) が作動油 流路に露出せず、
急激な流速変化 (サージフロー) が発生した時に
シール材をダメージから守ります。

フラットフェースデザイン

- 分離時作動油のモレがありません。
- 作業環境の汚損を防ぎます。
- 異物混入を防ぎ機器の性能を維持、寿命を
延ばします。

大きなねじ込みピッチ

- 効率良く接続、分離が可能です。
- 大きなピッチと丸みを帯びた
ねじ形状により清掃が容易に
行えます。

亜鉛ニッケルメッキ採用

- 高い防食性能を実現します。



◀ TLXの動画、
製品詳細はこちら。
ぜひご覧下さい。